

第1回福井県文化振興プラン策定委員会

福井県の文化芸術振興について

令和5年8月30日

福井県 文化・スポーツ局 文化課

1 福井県におけるこれまでの文化政策

目次

1 福井県におけるこれまでの文化政策	(頁)
(1) 文化政策推進の考え方	4
(2) 主な文化施策	6
2 福井県の文化芸術振興を取り巻く現状と課題	
(1) 社会情勢の変化、国の動向	11
(2) 県内の文化的環境	14
(3) 県民アンケートの結果概要	15
3 福井県文化振興プラン(仮称)策定の方向性	
(1) プランの概要(目的、位置づけ)	17
(2) 基本理念・方針等	19
[参考資料] 福井県の文化芸術に関する資料・データ編	26

1(1) 文化政策推進の考え方

■教育・文化ふくい創造会議からの提言 (H22.2)

- ・ 県内外の有識者で構成する「教育・文化ふくい創造会議」から提言を受け、平成22年度以降、県が取り組むべき文化施策を決定
- ・ 主な成果として、越前海岸の水仙畑など「ふるさと百景」選定、若狭御食国・鯖街道など日本遺産の認定(5か所)、一乗谷朝倉氏遺跡博物館整備などにより福井が誇る文化を再認識し、全国にアピール
- ・ 今後の課題として、もっと身近に文化を感じる環境づくり、人材の育成、地元企業の応援、文化による産業振興、世界への発信があげられる

I 文化のある生活 ～暮らしの中で文化を楽しむ風土をつくる～

1 身近に文化を感じる環境づくり

- ① 身近な文化を見つめ直し後世に残す
- ② 美術館・博物館をもっと身近に

2 子どもたちの文化の素地を培う

- ① すべての子どもたちに本物の文化芸術体験を
- ② ふるさと教育の推進

II 創造 ～文化の活用により地域を創造する～

3 地域固有の文化資源を生かしてまちづくりを進める

- ① 地域の歴史的魅力の向上

4 文化の力で産業を強化する

- ① 歴史や文化を観光資源として活用
- ② 文化により産業の付加価値を高める

III 人 ～福井文化を支える人を育てる～

5 文化の創り手・演じ手を育てる

- ① 文化団体の活力向上
- ② ハーモニーホール、美術館を核とした音楽人材・美術家の育成

6 地域の文化活動を応援する

- ① 地元企業による文化活動の応援

IV 発信 ～福井文化を世界に発信する～

7 「文字の国 福井」を発信する

- ① 白川文字学による漢字教育の充実

8 全国に誇るべき先人に学ぶ

- ① 福井の偉人を学ぶ
- ② 幕末福井を全国にアピール

1(1) 文化政策推進の考え方

■ 福井県長期ビジョン (R2.7)

- ・ R2年度以降は、「福井県長期ビジョン」で重点施策に位置付けられた「文化芸術を活かした交流拡大」に関する取組みを強化。**文化施設中心の文化政策から、館外普及、アマチュアプレーヤーの掘り起こし、県民活動支援にも政策を展開**

長期ビジョンで 目指す3つの姿

自信と誇りの ふくい

「ふくいらしさ」を伸ばし、
外に開いて人を呼び込む。

誰もが主役の ふくい

多様な個性を大事にし、
みんなが自分らしく輝く。

飛躍する ふくい

変化をチャンスに、
しごととくらしを創造。

分野	政策
学びを 伸ばす (人材力)	1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成
	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり
	3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現
	4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援
成長を創る (産業力)	5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ
	6 地域経済のイノベーション
	7 Society5.0時代の新産業創出
	8 拡大する世界市場をふくいの成長へ
楽しみを 広げる (創造力)	9 100年に一度のまちづくり
	10 北陸新幹線開業効果を最大化
	11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略
	12 文化・スポーツがふくいの活力
安心を 高める (地域力)	13 人生100年時代の健康ライフスタイル
	14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉
	15 ふるさとの暮らしと風景の維持
	16 防災・治安先進県ふくいの実現
ともに進める (総合力)	17 「チームふくい」の行政運営
	18 広域パートナーシップの強化

文化による 「エンタメ福井」 実現プロジェクト

文化芸術を活かした交流
を拡大し、訪れる人も
県民も楽しみ合える
場所・機会づくりを推進

- I 文化の創り手・
演技手を育てる
- II 身近に文化芸術
を感じる環境を
つくる
- III 「若者・よそもの」
が集まるまちづくり
を進める

I 文化の創り手・演じ手を育てる

① 子どもたちの文化の素地を培う

- ・ 中学校での音楽公演、音楽堂に小学生を招いてのオーケストラコンサート開催
- ・ 博物館・美術館での親子体験教室や学校の授業での無料鑑賞会の開催

② 将来のアーティストを育てる

- ・ 音楽や美術、書道、演劇などの一流芸術家から直接指導を受ける講座の開催

③ プロアーティストのレベルアップ

- ・ 福井ゆかりの音楽家「越のルビーアーティスト」の発表機会の創出

④ 習い事などを通じて文化活動への参加を増やす

- ・ 書道、茶道、華道など、地域の文化団体への活動支援



福井県立音楽堂での小学生を招いたコンサート



高校生が著名美術家の直接指導を受ける講座



「越のルビーアーティスト」の発表会

II 身近に文化芸術を感じる環境をつくる

① 身近に文化芸術に親しむ機会を充実

- ・ 県民が身近な文化施設などで芸術作品や演技を披露する「ふくい県民総合文化祭」の開催支援
- ・ 楽器体験会の開催などによるアマチュアプレイヤーの掘り起こし
- ・ 市町ホールを拠点とする音楽サークルの設立・運営支援

② 美術館・博物館・音楽堂をもっと身近に

- ・ 中学校での音楽公演、音楽堂に小学生を招いてのオーケストラコンサート開催
- ・ 博物館・美術館での展示、音楽堂での公演を開催し、県民の鑑賞機会を拡充
- ・ 地域における企画展、アウトリーチコンサートの開催



ふくい県民総合文化祭（太鼓フェスティバル）



中学校への出張音楽公演



県立美術館ナイトミュージアム

1(2) 主な文化施策

■ 文化的環境(主な県立文化施設)

施設	特色
音楽堂	県民の音楽鑑賞の場として公演を開催しているほか、音楽教室や団体が発表の場として利用。将来のアーティスト育成や若手演奏家のレベルアップ支援なども実施。
美術館	福井ゆかりの作家の作品や情報収集に力を入れるとともに、年間を通じて企画展、テーマ展等を開催。実技講座等の教育普及活動も実施。
歴史博物館	郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集、保管。福井の歴史や、昭和30～40年代の人々の暮らしを網羅的に展示、解説するとともに、講演会、講座等の開催による教育普及活動を実施。
若狭歴史博物館	若狭地方の歴史、民俗等に関する資料を収集、保管。若狭地方に焦点をあてた「みほとけ」「祭りと芸能」「歴史」をテーマとした展示、解説を行うとともに、講演会、講座等の開催による教育普及活動を実施。
一乗谷朝倉氏遺跡博物館	特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡の発掘調査・整備、調査研究、出土遺物の保管などを行う。室町時代後期、越前国を統治した朝倉氏に関する資料の収集・保管、展示、出土品による当時の暮らしを常設展示するほか、特別展を開催。講演会、体験講座などによる教育普及活動も実施。
こども歴史文化館	福井県の先人についての展示や、白川静、南部陽一郎など、福井県の人物について展示、解説。
年縞博物館	考古遺物などの年代測定の「世界的標準のものさし」となった水月湖の年縞の実物展示のほか、水月湖年縞を目盛りとして7万年間の人類や環境の歴史について展示、解説。
恐竜博物館	恐竜を中心とする古生物および地質時代の地球の歴史に関する資料を収集、保管、展示、研究。屋外での発掘体験を通して自然史系の教育普及にも力を入れている。
陶芸館 越前古窯博物館	日本六古窯に数えられる越前焼をテーマに展示を行い、郷土の産業について展示、解説。
図書館 文書館 ふるさと文学館	図書館は、県民の教養、調査研究、レクリエーション等に資するため、資料を収集、整理、保存し、利用に供している。 県文書館は、県に関する歴史的な資料として公文書や古文書を収集、保存し、利用に供するとともに、調査研究を行っている。 ふるさと文学館は、福井県にゆかりのある文学者、文学作品等に関する資料の収集、保存、展示、調査研究、教育普及を行っている。
埋蔵文化財調査センター	県内の埋蔵文化財の調査研究を行い、福井の祖先達の生活や文化について、現地説明会や出前授業により教育普及に努めている。

Ⅲ 「若者・よそ者」が集まるまちづくりを進める

① まちかどでの文化芸術発表

- ・ まちかどでのコンサート開催
- ・ 「まちなかステージ」「まちなかピアノ」の設置
- ・ アーティスト・イン・レジデンスなど、文化芸術を通じた国際交流の推進
- ・ 「ワンパークフェス」「グリーンフラッシュフェス」など
地域に根ざした音楽祭の応援



ワンパークフェス（福井市）

② 若手アーティスト等の活躍によるまちづくり

- ・ 地域プロジェクト型のアート活動への支援
(助成制度、活動相談支援の体制づくり)
- ・ 県内で活動する若手美術作家の東京での個展開催や
情報発信の支援
- ・ サブカルチャーを含めた多様な文化芸術活動の応援



東京銀座で開催した若手美術作家の個展

③ 地域の文化(※)の活用

- ・ 歴史的背景など知的好奇心を刺激するストーリーを発信
(日本遺産の活用など)
- ・ 一乗谷朝倉氏遺跡のフィールドミュージアム化



民間団体と連携して開催しているサブカルチャーイベント

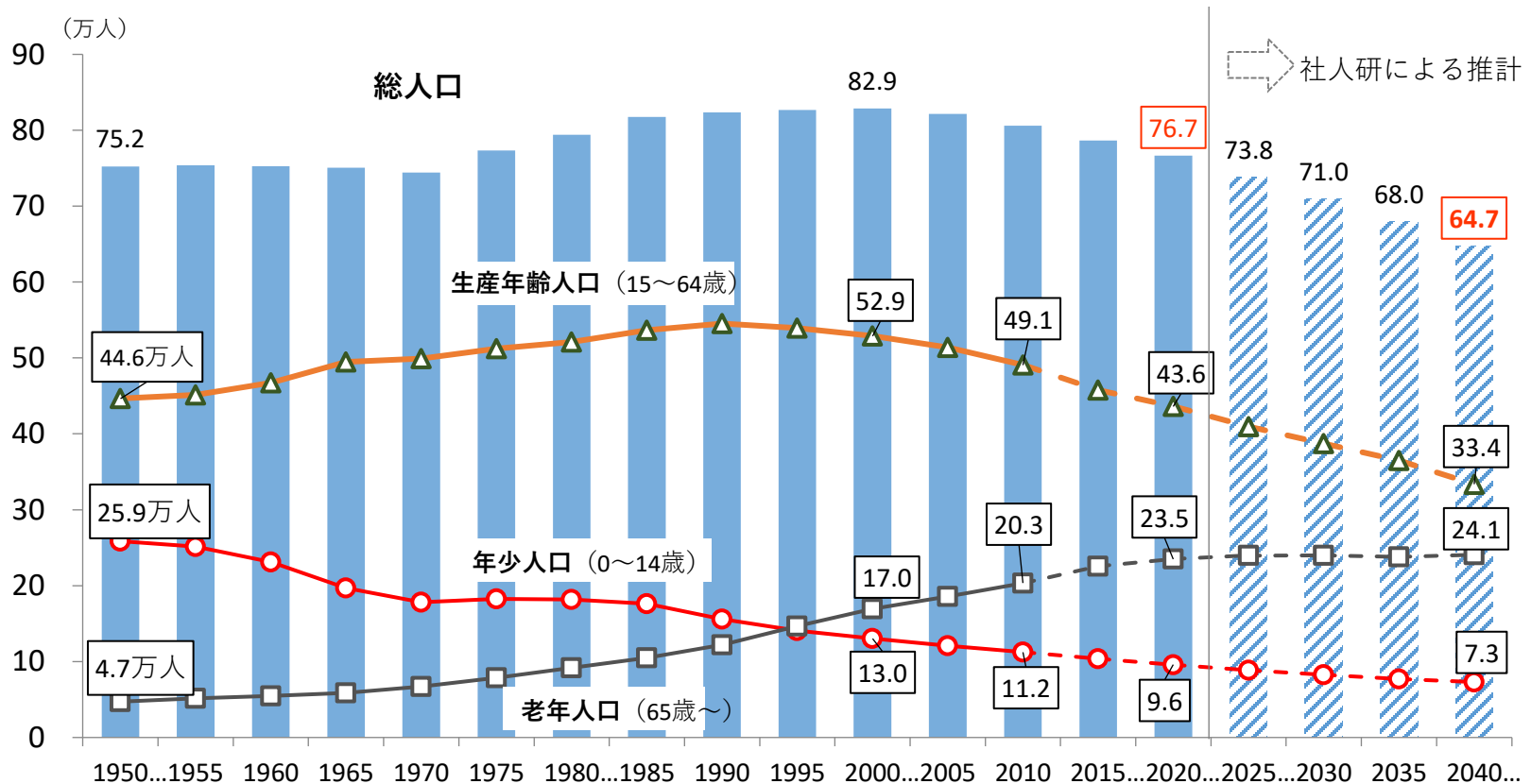
※地域の文化:有形・無形の文化財や地域固有の伝統芸能、文化的・歴史的景観など

2 福井県の文化芸術振興を取り巻く現状と課題

2(1) 社会情勢の変化、国の動向

■福井県の総人口の減少、少子高齢の進行

- ・平成12(2003)年の82.9万人をピークに**本県人口は減少**が続いており、直近では、76.7万人(2020年国勢調査)
- ・国立社会保障・人口問題研究所(社人研)による推計では、2040年には64.7万人まで減少する見込み
- ・老年人口が増加する一方、**年少人口や生産年齢人口はほぼ一貫して減少**



出典: 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所 | 都道府県別将来推計人口(30年3月)

2(1) 社会情勢の変化、国の動向

幸福度日本一

- 福井県は「全47都道府県幸福度ランキング」(一般財団法人日本総合研究所編)において、**5回連続で総合1位**
 ※人口増加率などの基本指標と、分野別指標(健康、文化、仕事、生活、教育)など全80指標により都道府県の幸福度を算出
- 文化分野の指標については、ほとんどが中位以下**

教育・娯楽 (サービス) 支出額	余暇時間	常設映画館数	書籍購入額	文化活動等 NPO認証数
24位	25位	7位	43位	45位
外国人宿泊者数	姉妹都市提携数	語学教室にける金額	海外渡航者率	留学生数
33位	39位	27位	25位	35位

大交流化(新幹線、高速道路等の交通網整備)

- 福井県は、三大都市圏からほど良い距離に位置
- 令和6年春の**北陸新幹線福井・敦賀開業**や
令和8年春の**中部縦貫自動車道県内全線開通**
により利便性はさらに高まる
- 一方で、**地域間競争が激化**



2(1) 社会情勢の変化、国の動向

■文化芸術に関する国の動き

文化芸術を心豊かで多様性と活力ある社会を形成する源泉として位置づけ、
国において文化芸術を総合的・計画的に推進

施行等	法律・計画等	内容
H13.12	文化芸術基本法	国法レベルで初めて「文化芸術を創造し、享受する」いわゆる文化権を明記
H14.12	文化芸術の振興に関する基本的な方針	おおむね5年間の国の文化芸術の振興施策の総合的な推進を目指す（以降、5年ごとに改定） 「文化力」による地域創生への寄与、生活の貧困化により社会的に排除されている人々を「社会包摂」する機能、子どもや若者の参加と後継者の育成、学校や福祉施設等との連携によるアウトリーチの展開などに言及
H24	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律	公立文化施設の活性化を図るため、国は劇場、音楽堂の施設を活性化し、地域文化振興の中心とする方針を示した
H25	劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針	音楽堂などの公立文化施設が単に貸しホールとして機能するのではなく、「公共性」をもち、演劇や音楽の上演、美術展示などを通じてなくてはならない存在となるよう示された
H30.3	文化芸術推進基本計画の策定（第1期）	文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、今後5年間（H30～R4）を見通し策定

施行等	法律・計画等	内容
H30.6	障害者文化芸術推進法	障害のある人による文化芸術活動を通じて障害のある人の個性と能力の発揮及び社会参加の促進を図ることを規定
H31.3	障害者文化芸術活動推進基本計画の策定	
H31.4	文化財保護法の改正	文化財をまちづくりに活かし、地域社会総がかりで、その継承に取り組むため、国が指針を示し、地域の文化財の計画的な保存・活用を促進
R2.5	文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律	文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光を推進するため、国の基本方針に基づく拠点計画および地域計画の認定や、認定された計画に基づく事業に対する特別措置を規定
R4.4	文化財保護法の改正	書道や食文化等の生活文化を含めた多様な無形の文化財の積極的な保護を図る登録制度を創設 各自治体の文化財保存活用地域計画とも連動し 地域の実態に合わせた多様な保存・活用の仕組みづくりを推進し、幅広く文化財の裾野を広げ保存・活用を図るよう規定
R5.3	文化芸術推進基本計画の策定（第2期）	博物館法改正や文化観光推進法制定、少子高齢、デジタル化等社会状況の変化を踏まえ、改めて文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、今後5年間（R5～R9）を見通し策定
R5.4	博物館法の改正	博物館に求められる役割の多様化・高度化を踏まえた博物館の設置・運営について規定 博物館の事業に博物館資料のデジタル・アーカイブ化を追加 他の博物館等との連携および地域の多様な主体との連携・協力による文化観光その他の活動を図り地域の活力の向上に取り組むことを規定

2(2) 県内の文化的環境

■ 博物館数や図書館数などの文化的環境に関するデータ

- ・ 博物館数や県民向け学級・講座数などの数値は比較的高く、全国と比較しても高い水準

指 標	単 位	全 国	福 井 県	順 位	年 度
公民館数（人口100万人当たり）	館	107.6	266.4	13	2018
図書館数（人口100万人当たり）	館	26.5	47.6	8	2018
博物館数（人口100万人当たり）	館	10.1	24.5	6	2018
青少年教育施設数（人口100万人当たり）	所	7.0	12.9	9	2018
常設の興行場数（映画館）（人口100万人当たり）	館	11.6	11.7	14	2020
青少年学級・講座数（人口100万人当たり）	学級・講座	603.4	4,261.5	1	2017
成人一般学級・講座数（人口100万人当たり）	学級・講座	2,079.2	10,184.6	3	2017
女性学級・講座数（人口100万人当たり）	学級・講座	373.9	2,094.8	5	2017
高齢者学級・講座数（人口100万人当たり）	学級・講座	269.9	942.3	7	2017
ボランティア活動の年間行動者率（10歳以上）	%	26.0	32.2	9	2016
旅行・行楽の年間行動者率（10歳以上）	%	73.5	73.6	16	2016
海外旅行の年間行動者率（10歳以上）	%	7.2	4.8	22	2016
一般旅券発行件数（人口千人当たり）	件	4.1	1.8	33	2021

2(3) 県民アンケートの結果概要

■令和4年度 県民の文化に関する意識調査

【リアル鑑賞の経験】

・過去1年間に文化芸術を直接鑑賞したことがあると回答した割合は71.2%

【鑑賞以外の文化芸術活動】

・過去1年間に、鑑賞ではなく、自分で何らかの文化芸術活動を実践したり、ボランティアとして活動を支援した割合は22.3%

【地域の文化的環境】

・居住する市町の文化的な環境について、「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した割合は34.3%

【自身を取り巻く文化的環境】

・居住する市町が、普段の生活の中で文化芸術活動を実践し、または観て楽しめる地域になっていると感じるかについて、「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した割合は30.7%

■令和4年度 本県の芸術文化活動に関するアンケート調査(文化活動団体対象)

・活動していく上での課題として「会員(活動者)の高齢化が進んでいる」

「若年層の参加が進んでいない」と回答した割合が特に高く、どちらも7割以上

・10年前と比較した団体の活動者数の増減について、「減少した」と回答した割合は88.3%

■令和3年度 無形民俗文化財に関するアンケート(無形民俗文化財保護団体対象)

・ここ数年の伝承・保存のための活動状況について、活動できている団体が7割を占める

3 福井県文化振興プラン(仮称)策定の方向性

3(1) プランの概要

■ 目的

本県の今後の文化振興の方向性および重点戦略等を取りまとめ、県内活動者や関係機関、市町などと協働しながら総合的・計画的に推進することにより、県民の文化力向上を図る。

■ 位置づけ

- ・文化芸術基本法第7条の2に定める地域文化芸術推進基本計画
- ・福井県長期ビジョンの分野別計画

■ 計画期間

5年間（令和6年度～10年度）

ただし、計画期間内であっても社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて本計画の内容を見直す。

■ 策定スケジュール

令和5年	8月～10月	活動者や関係者からの意見聴取(現状、課題、要望 等)
	8月30日	第1回策定委員会 …プランの方向性等について
	10月24日	第2回策定委員会 …骨子案について
	12月	12月議会 ←骨子案説明
令和6年	1月上旬	第3回策定委員会 …プラン案(本文)について
	2月	2月議会 ←プラン案説明 パブリックコメント
	3月	策定完了・公表

■ 対象とする文化芸術の範囲

文化芸術基本法の対象範囲 + **福井らしさ、独自の文化** ※下線部を追加
 (福井らしく独自の文化の源となるもの、関連するものを含む)

	分野	範囲
文化芸術基本法の対象範囲	芸術	文学、音楽、美術、写真、演劇、その他の芸術
	メディア芸術	映画、漫画、アニメーションおよびコンピュータ、その他の電子機器などを利用した芸術
	伝統芸能	雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、その他の日本古来の伝統的な芸能
	芸能	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱、その他の芸能（伝統芸能を除く）
	生活文化	茶道、華道、書道、食文化、その他の生活に係る文化
	国民娯楽	囲碁、将棋、その他の国民的娯楽
	出版物等	出版物およびレコード等
	文化財等	有形および無形の文化財ならびにその保存技術
	地域の文化	各地域における文化芸術の公演、展示、芸術祭等 地域固有の伝統芸能および民俗芸能（地域の人々によって行われる民俗的な芸能） 文化的・歴史的景観（※）、方言

※文化的・歴史的景観

福井らしい景観（ふるさと百景、歴史的建造物や伝統的な町並み、重要文化的景観、福井の伝統的民家群、広域景観軸等の百景選定地、選定地以外の文化的・歴史的景観、日本遺産（ストーリーを構成する文化財等））など

文化芸術で福井をもっとおもしろく！ ～文化力で創る、心豊かな人・魅力あふれる地域～

すべての県民が文化芸術に触れ、楽しみ、自ら創造・発信できる環境を整えることにより、県民のウェルビーイングと地域の活力が相乗的に高まり、好循環を創出する地域の実現を目指す



1 誰もが多様な文化芸術に親しみ、鑑賞・参加・創造し、心豊かに暮らす福井



2 地域の文化が様々な人によって守られ、磨かれながら次世代に引き継がれる福井



3 文化芸術の新たな価値が創造・発信され、県民と訪れる人がともに楽しむ福井



1 文化芸術の領域と果たす役割の拡大

2 県民主体の活動振興

3 県民全ての表現機会の拡大

4 文化芸術を振興する人材の育成

5 文化芸術による交流機会の拡大

6 地域の文化の振興

7 文化芸術を活用した地域社会の再生と創造

8 文化芸術による地域経済の活性化

現状・課題

地域の文化的環境に対する県民の満足度が低く、県民が文化芸術を身近に感じていない

- ・地域の文化的環境に満足している割合は34.3%
- ・過去1年間に何らかの文化芸術活動を実践・支援した割合は22.3%
- ・県内には博物館施設が80館以上あり、人口100万人あたりの博物館数は全国第6位
- ・博物館法の一部改正により、博物館が地域で多様な主体と連携し、地域の活力向上に取り組むことが求められている
- ・コロナ禍によって、文化芸術を提供する側・享受する側の電子情報の活用が加速し、楽しみ方が変化

目指す姿 ①

誰もが多様な文化芸術に親しみ、鑑賞・参加・創造し、心豊かに暮らす福井



基本方針

1 文化芸術の領域と果たす役割の拡大

- ・多様な文化芸術の高付加価値化
- ・社会課題の解決に寄与する文化芸術の振興

2 県民主体の活動振興

- ・県民が参画する文化芸術活動への直接投資
- ・文化施設の機能強化

3 県民全ての表現機会の拡大

- ・高齢者、障がい者、子どもの枠を超えた表現活動の機会提供

主な施策

- 創造活動への理解促進
- 鑑賞する力の育成強化
(デジタルアーカイブ化、もっと気軽に鑑賞できる機会充実)
- サブカルなど多様な分野の振興

- アートサポートセンターの機能を構築
- 創造活動支援の拡充(基金創設)
- 文化施設の地域振興への貢献度を向上
- コレクターや地域との関係強化
- 学芸員の役割を拡げる

- 年齢、国籍、障がいの有無等に関わらず、誰もが参加できる機会の拡充

現状・課題

人口減少・少子高齢に伴い、祭りや伝統芸能をはじめ、地域の文化の担い手が不足している

- ・県内には、豊かな自然、奥深い歴史に培われた有形・無形の文化財が数多く存在
- ・人口減少、少子高齢の進行
(2020年76.7万人→2040年64.7万人)
- ・文化団体の高齢化・会員減少による活動継続が困難に
(10年前より活動者数が減少したと回答した割合88.3%)
- ・コロナ禍が文化芸術に与えた影響(文化芸術活動の減少、地域の祭礼の中止・規模縮小等)により、文化芸術活動基盤の脆弱さを認識

目指す姿 ②

地域の文化が様々な人によって守られ、磨かれながら次世代に引き継がれる福井



基本方針

4 文化芸術を振興する人材の育成

- ・プレイヤーとともにプロデューサーの発掘支援

5 文化芸術による交流機会の拡大

- ・国際芸術祭、アートプロジェクトによる交流と福井文化のプロモーション

6 地域の文化の振興

- ・有形・無形の文化財や地域固有の伝統芸能、文化的・歴史的景観など地域文化の活用

主な施策

- 担い手となる子どもの文化体験プログラム拡充
- 地域プロデューサーの発掘・活用
- 大学との連携によるマネジメント人材の育成
- 宮大工など文化財の修理技術者の育成

- アーティスト・イン・レジデンスなど各地のアート交流拠点づくり
- 国際的な文化交流の充実
- 世界への地域文化の発信(外国人材や海外機関との連携推進)

- 地域の文化、文化的・歴史的景観等を最大限活用した文化観光の推進
- 地域内外による応援団づくり
- 有形・無形の文化財のデータでの保存継承

現状・課題

大交流化に対応するため、創造性をもって福井の文化の価値を高め、世界に発信していく必要がある

- ・北陸新幹線の開通(R6)、中部縦貫自動車道の県内全線開通(R8)など都市圏との利便性が向上。一方で地域間競争激化
- ・外国人宿泊者数:全国33位
- ・「文化観光推進法」制定や「博物館法」改正により、文化振興を観光振興や地域の活性化につなげることが求められている
- ・茶道、華道、書道、食文化など地域に根ざした「和の生活文化」は、本県ならではの多様な文化を表し、産業等とも密接に関連

目指す姿 ③

文化芸術の新たな価値が創造・発信され、県民と訪れる人がともに楽しむ福井



基本方針

主な施策

7 文化芸術を活用した地域社会の再生と創造

- ・地域創造に寄与するアートプロジェクトの飛躍的拡充拡大

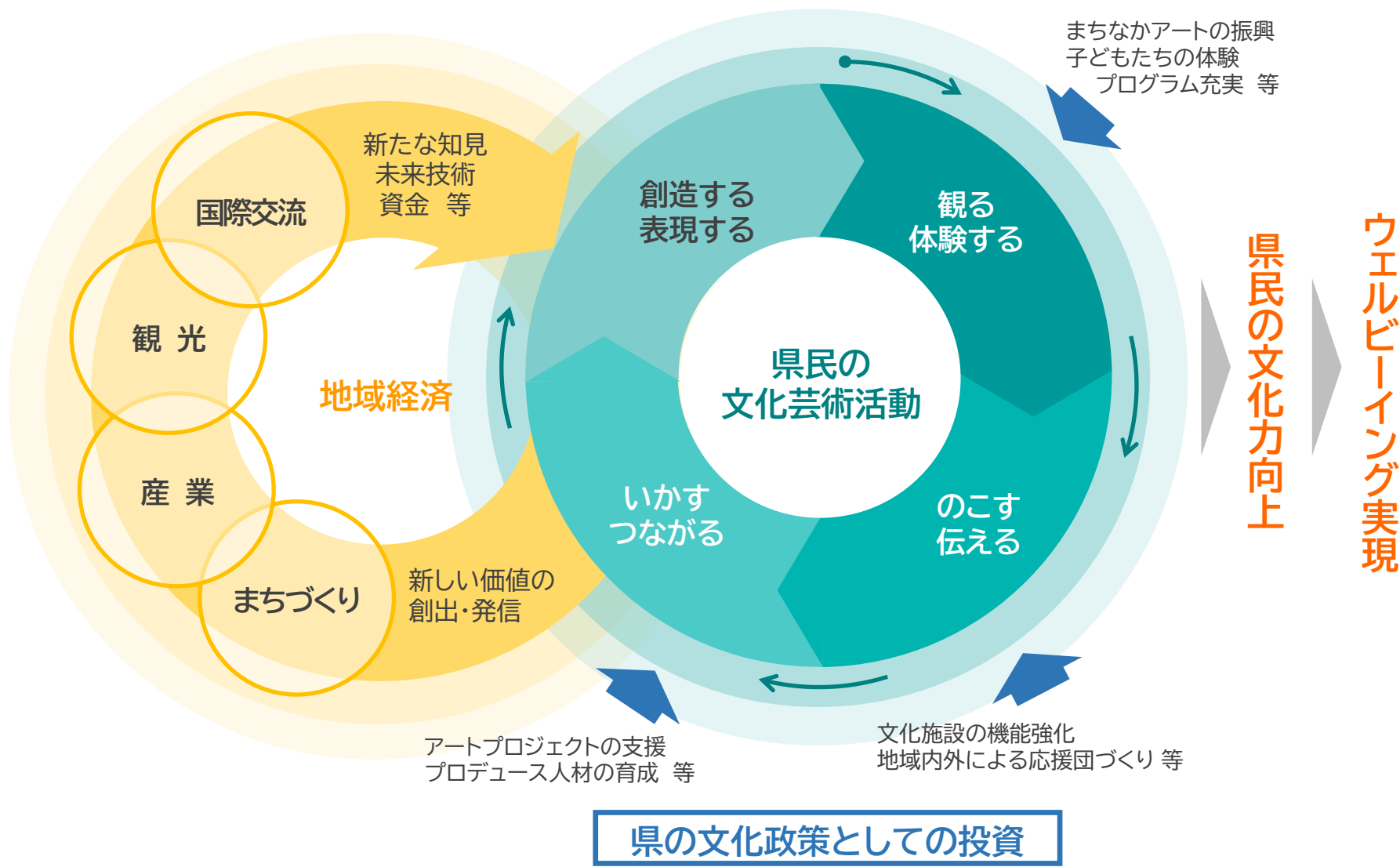
- アートを活かしたまちなかの活性化
- 公共空間や歴史的建造物などのアーティストへの開放
- 地域や世代を超えた文化コミュニティの結成

8 文化芸術による地域経済の活性化

- ・文化と経済の好循環の創出

- 企業メセナ活動の促進(資金・人材・施設・設備の提供支援)
- 企業活動の顕彰
- アーティストの活動基盤の強化(就労環境向上)
- 音楽家、画家、デザイナーなどアーティストが関わる創造産業の育成

福井県における文化芸術と地域経済の好循環



プランの指標

令和4年度実施の県民アンケート調査等をもとに指標を設定し、評価・検証する

○指標1 過去1年の間に、芸術鑑賞以外の文化芸術活動を実践(創作や出演、習い事、祭や体験活動への参加など)、もしくはボランティアとして活動支援をした者の割合

[令和4年度 県民の文化に関する意識調査(県民アンケート)結果]
・何らかの文化芸術活動を実践・支援した 22.3%(R4)

○指標2 地域の文化的環境に対する県民満足度

[令和4年度 県民の文化に関する意識調査(県民アンケート)結果]
・満足している・どちらかといえば満足 34.3%(R4)

○指標3 持続的に文化芸術活動を実践する活動者数(県域・各地域の団体活動者数)

[令和4年度 本県の芸術文化活動に関するアンケート調査(団体調査)結果]
・10年前と比べての団体活動者の増減
減少したと回答する団体 88.3%(R4)

○指標4 県内企業の芸術文化に対する関わり

[県内企業のメセナ活動に関する調査(事業所母集団データベースから抽出)]
※R5年度調査・10月結果まとめ

福井県の役割(基本的な役割)と推進体制

- ・県は、文化施設、市町、(公財)福井県文化振興事業団、各分野の文化団体など様々な推進主体との連携を図り、それぞれと課題を共有・協働し、県の長期ビジョンおよび本計画に基づく、文化施策を総合的・効果的に推進
- ・県民主体の様々な文化芸術活動を、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の多様な分野とつなげていくため、**文化芸術の普及・創造・発信の拠点となる文化施設の中間支援機能の強化、地域と連携した調査・研究機能の拡充など推進体制をさらに強化**

主な関係機関等に期待される役割

機 関	期待される役割
県民	文化芸術に関する理解と関心を向上 県民一人一人が自主的、主体的に文化芸術を楽しみ、活動に参加
文化芸術団体	知識や経験を活かし、各分野の活動を牽引し、担い手の育成、地域の文化の継承 (一社)福井県文化協議会は、各地の文化芸術団体を束ね、団体活動の支援
文化施設	文化芸術の普及・創造・発信の拠点となって、関係機関と連携し、多彩な文化芸術を観る、体験する機会の提供 <u>地域と連携した調査・研究機能を拡充。</u> その成果を広く発信、有形・無形の文化財や地域の文化への理解促進、次世代にのこし、伝える
教育機関	学校教育や課外活動において、文化芸術の鑑賞・体験機会の拡充、ふるさと教育の推進、文化施設との連携 大学などの高等教育機関では、地域の文化の振興に必要な調査・研究、文化芸術に関わる人材の養成
市町	文化財保存活用地域計画などの計画のもと有形・無形の文化財や地域の文化の保護・継承 地域の特性を生かし、多様な主体・市民団体との連携を図り、住民主体の活動の支援
企業	地域社会の重要な構成員として資源を提供するなど、文化芸術活動の応援 企業活動のなかでの文化芸術の活用
(公財)福井県文化振興事業団	県民文化力の向上を目的とした自主的・主体的な文化事業の実施 文化芸術活動の相談など <u>中間支援機能を強化</u> することにより、県民主体の文化芸術活動をより一層支援 文化芸術活動に関する調査・研究

福井県の文化芸術に関する資料・データ編

1 福井の文化が培われた歴史

2 文化的環境

(1)主な文化施設

(2)文化的・歴史的景観等

(3)指定文化財

(4)伝統工芸等

3 国際交流(友好都市提携等)の状況

4 アーティストの状況(芸術家数)

5 県民アンケートなどから見る状況

(1)県民アンケートの結果

(2)文化団体へのアンケート結果







(3)無形民俗文化財保存団体アンケート調査結果

(4)県内企業のメセナ活動に関する調査結果 (※調査中)

1 福井の文化が培われてきた背景(歴史)

年表	旧石器～弥生時代	古墳時代	白鳳時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	南北朝時代
西暦		538	645	710	794	1192	1333 1334 1338 1392
日本の出来事	土器を作り始める 稲作・金属器の使用が始まる	仏教伝来	大化の改新	平城京に都が移る	平安京に都が移る	摂関政治 源頼朝が鎌倉幕府を開く 平氏が栄える	道元 後醍醐天皇が建武の新政をはじめ 足利尊氏が室町幕府を開く 鎌倉幕府が減じる
福井県の出来事	恐竜	継体天皇が即位する	越前国、若狭国の成立	東大寺が越前国北部に荘園を持つ	藤原利仁が鎮守府將軍となる	紫式部が越前国で少女時代を過ごす 越前国で平氏と木曾義仲が戦う	道元が永平寺をひらく 浄土真宗高田派の如道が足羽郡大町専修寺を開く 時宗の他阿真教が越前国で教えを説く 新田義貞が灯明寺で戦死
県内の文化財	福井県桑野遺跡出土品(国考古・あわら市) 福井県鳥浜貝塚出土品(国考古・若狭町) 舟津貝塚(国史跡・あわら市) 勝山恐竜化石群及び産地(国天然記念物・勝山市)	兜山古墳(国史跡・鯖江市) (国史跡・若狭町) 上ノ塚古墳・下船塚古墳・中塚古墳・西塚古墳 六呂瀬山古墳群(国史跡・坂井市)	若狭国分寺(国史跡・小浜市) 興道寺廃寺跡(国史跡・美浜町)	紫式部	中山寺本堂(国建造物・高浜町) 金ヶ崎城跡(国史跡・敦賀市) 杣山城跡(国史跡・南越前町) 燈明寺で戦った新田義貞戦死地(国史跡・福井市)		

福井県の文化芸術に関する資料・データ編

年表	室町時代	安土・桃山時代	江戸時代								
西暦	1467	1573	1590 1600	1603	1637	1716	1787	1841	1853	1858	1867
日本の出来事	<p>応仁の乱</p>  <p>朝倉義景</p>	<p>織田信長が室町幕府を滅ぼす</p>	<p>関ヶ原の戦い</p> <p>豊臣秀吉による全国統一</p>	<p>徳川家康が江戸幕府を開く</p>  <p>岩佐又兵衛</p>	<p>天草・島原一揆</p>	<p>享保の改革</p>	<p>寛政の改革</p>	<p>天保の改革</p>	<p>ペリー来航</p> <p>安政の大獄</p>  <p>松平春嶽</p>	<p>大政奉還</p>	
福井県の出来事	<p>武田氏が若狭国の守護となる</p> <p>運如が吉崎(あわら市)で布教する</p> <p>朝倉氏が一乗谷に居を構え越前国を支配する</p> <p>若狭武田氏が後瀬山城(小浜市)を築き、本拠とする</p> <p>足利義昭が一乗谷に来訪</p> <p>織田信長が越前に侵入し、柴田勝家を越前国主とする</p> <p>金森長近が大野郡を与えられ、大野城を築城する</p> <p>越前一向一揆が蜂起し、平泉寺の諸堂・坊院が全焼</p> <p>朝倉氏が織田信長によって滅ぼされる</p>	<p>柴田勝豊が丸岡城主となる</p> <p>賤ヶ岳の戦い</p> <p>柴田勝家が羽柴秀吉に滅ぼされる(北庄城落城)</p> <p>結城秀康が越前国に入国</p> <p>京極高次が若狭国に入国し、小浜城を築く</p> <p>敦賀城主大谷吉継が関ヶ原の戦いで敗死</p> <p>酒井忠勝が京極氏に代わり、若狭国に入国する</p> <p>松平忠直改易</p> <p>本多成重、丸岡城に入る(丸岡藩成立)</p> <p>絵師岩佐又兵衛が北庄で工房を構える</p>	<p>有馬氏が丸岡藩主となる</p> <p>松尾芭蕉が福井を訪れる</p> <p>日本海に上方からの船が進出</p> <p>福井藩が藩札を発行する</p>  <p>杉田玄白</p>	<p>武田耕雲斎率いる水戸天狗党が敦賀で処刑される</p> <p>松平春嶽が幕府の中で活躍する</p> <p>橋本左内・梅田雲浜らが獄死する</p> <p>大野藩による藩政改革</p>	<p>武田耕雲斎墓(国史跡・敦賀市)</p> <p>丸岡藩砲台跡(国史跡・坂井市)</p> <p>小浜藩砲台跡(国史跡・おおい町)</p> <p>旧木下家住宅(国建造物・勝山市)</p> <p>大滝神社(国建造物・越前市)</p> <p>小浜西組(伝統的建造物群・小浜)</p> <p>勝谷口家住宅(国建造物・越前市)</p> <p>狹野家住宅(国建造物・若狭町)</p> <p>熊川宿(伝統的建造物群・若狭町)</p> <p>永平寺(国建造物・永平寺町)</p> <p>伊藤氏庭園(国名勝・南越前町)</p> <p>旧橋本家住宅(国建造物・大野市)</p> <p>堀口家住宅(国建造物・池田町)</p> <p>相木家住宅(国建造物・越前町)</p> <p>瓜生家住宅(国建造物・鯖江市)</p> <p>柴田氏庭園(国名勝・敦賀市)</p> <p>大安寺本堂(国建造物・福井市)</p> <p>坪川家住宅(国建造物・坂井市)</p> <p>氣比神宮大鳥居(国建造物・敦賀市)</p>	<p>春日神社本殿(国建造物・鯖江市)</p> <p>小浜城跡(国史跡・小浜市)</p>  <p>結城秀康</p>	<p>世界及日本図六曲屏風(国歴史資料・福井市)</p> <p>世界及日本図八曲屏風(国歴史資料・小浜市)</p> <p>玄蕃尾城(内中尾山城)跡(国史跡・敦賀市)</p> <p>丸岡城天守(国建造物・坂井市)</p> <p>越前大野城跡(国史跡・大野市)</p>	<p>福井県一乗谷朝倉氏遺跡(国考古・福井市)</p> <p>神宮寺本堂(国建造物・小浜市)</p> <p>湊谷寺(国建造物・坂井市)</p> <p>大塩八幡宮拝殿(国建造物・越前市)</p> <p>後瀬山城跡(国史跡・小浜市)</p> <p>飯盛寺本堂(国建造物・小浜市)</p> <p>須波阿須疑神社本殿(国・建造物池田町)</p> <p>吉崎御坊跡(国史跡・あわら市)</p> <p>一乗谷朝倉氏庭園(国特別名勝・福井市)</p> <p>一乗谷朝倉氏遺跡(国特別史跡・福井市)</p> <p>羽賀寺本堂(国建造物・小浜市)</p>	<p>福井県一乗谷朝倉氏遺跡(国考古・福井市)</p> <p>神宮寺本堂(国建造物・小浜市)</p> <p>湊谷寺(国建造物・坂井市)</p> <p>大塩八幡宮拝殿(国建造物・越前市)</p> <p>後瀬山城跡(国史跡・小浜市)</p> <p>飯盛寺本堂(国建造物・小浜市)</p> <p>須波阿須疑神社本殿(国・建造物池田町)</p> <p>吉崎御坊跡(国史跡・あわら市)</p> <p>一乗谷朝倉氏庭園(国特別名勝・福井市)</p> <p>一乗谷朝倉氏遺跡(国特別史跡・福井市)</p> <p>羽賀寺本堂(国建造物・小浜市)</p>	<p>福井県一乗谷朝倉氏遺跡(国考古・福井市)</p> <p>神宮寺本堂(国建造物・小浜市)</p> <p>湊谷寺(国建造物・坂井市)</p> <p>大塩八幡宮拝殿(国建造物・越前市)</p> <p>後瀬山城跡(国史跡・小浜市)</p> <p>飯盛寺本堂(国建造物・小浜市)</p> <p>須波阿須疑神社本殿(国・建造物池田町)</p> <p>吉崎御坊跡(国史跡・あわら市)</p> <p>一乗谷朝倉氏庭園(国特別名勝・福井市)</p> <p>一乗谷朝倉氏遺跡(国特別史跡・福井市)</p> <p>羽賀寺本堂(国建造物・小浜市)</p>	
県内の文化財	<p>武田耕雲斎墓(国史跡・敦賀市)</p> <p>丸岡藩砲台跡(国史跡・坂井市)</p> <p>小浜藩砲台跡(国史跡・おおい町)</p> <p>旧木下家住宅(国建造物・勝山市)</p> <p>大滝神社(国建造物・越前市)</p> <p>小浜西組(伝統的建造物群・小浜)</p> <p>勝谷口家住宅(国建造物・越前市)</p> <p>狹野家住宅(国建造物・若狭町)</p> <p>熊川宿(伝統的建造物群・若狭町)</p> <p>永平寺(国建造物・永平寺町)</p> <p>伊藤氏庭園(国名勝・南越前町)</p> <p>旧橋本家住宅(国建造物・大野市)</p> <p>堀口家住宅(国建造物・池田町)</p> <p>相木家住宅(国建造物・越前町)</p> <p>瓜生家住宅(国建造物・鯖江市)</p> <p>柴田氏庭園(国名勝・敦賀市)</p> <p>大安寺本堂(国建造物・福井市)</p> <p>坪川家住宅(国建造物・坂井市)</p> <p>氣比神宮大鳥居(国建造物・敦賀市)</p>	<p>春日神社本殿(国建造物・鯖江市)</p> <p>小浜城跡(国史跡・小浜市)</p>  <p>結城秀康</p>	<p>世界及日本図六曲屏風(国歴史資料・福井市)</p> <p>世界及日本図八曲屏風(国歴史資料・小浜市)</p> <p>玄蕃尾城(内中尾山城)跡(国史跡・敦賀市)</p> <p>丸岡城天守(国建造物・坂井市)</p> <p>越前大野城跡(国史跡・大野市)</p>	<p>福井県一乗谷朝倉氏遺跡(国考古・福井市)</p> <p>神宮寺本堂(国建造物・小浜市)</p> <p>湊谷寺(国建造物・坂井市)</p> <p>大塩八幡宮拝殿(国建造物・越前市)</p> <p>後瀬山城跡(国史跡・小浜市)</p> <p>飯盛寺本堂(国建造物・小浜市)</p> <p>須波阿須疑神社本殿(国・建造物池田町)</p> <p>吉崎御坊跡(国史跡・あわら市)</p> <p>一乗谷朝倉氏庭園(国特別名勝・福井市)</p> <p>一乗谷朝倉氏遺跡(国特別史跡・福井市)</p> <p>羽賀寺本堂(国建造物・小浜市)</p>	<p>福井県一乗谷朝倉氏遺跡(国考古・福井市)</p> <p>神宮寺本堂(国建造物・小浜市)</p> <p>湊谷寺(国建造物・坂井市)</p> <p>大塩八幡宮拝殿(国建造物・越前市)</p> <p>後瀬山城跡(国史跡・小浜市)</p> <p>飯盛寺本堂(国建造物・小浜市)</p> <p>須波阿須疑神社本殿(国・建造物池田町)</p> <p>吉崎御坊跡(国史跡・あわら市)</p> <p>一乗谷朝倉氏庭園(国特別名勝・福井市)</p> <p>一乗谷朝倉氏遺跡(国特別史跡・福井市)</p> <p>羽賀寺本堂(国建造物・小浜市)</p>	<p>福井県一乗谷朝倉氏遺跡(国考古・福井市)</p> <p>神宮寺本堂(国建造物・小浜市)</p> <p>湊谷寺(国建造物・坂井市)</p> <p>大塩八幡宮拝殿(国建造物・越前市)</p> <p>後瀬山城跡(国史跡・小浜市)</p> <p>飯盛寺本堂(国建造物・小浜市)</p> <p>須波阿須疑神社本殿(国・建造物池田町)</p> <p>吉崎御坊跡(国史跡・あわら市)</p> <p>一乗谷朝倉氏庭園(国特別名勝・福井市)</p> <p>一乗谷朝倉氏遺跡(国特別史跡・福井市)</p> <p>羽賀寺本堂(国建造物・小浜市)</p>	<p>福井県一乗谷朝倉氏遺跡(国考古・福井市)</p> <p>神宮寺本堂(国建造物・小浜市)</p> <p>湊谷寺(国建造物・坂井市)</p> <p>大塩八幡宮拝殿(国建造物・越前市)</p> <p>後瀬山城跡(国史跡・小浜市)</p> <p>飯盛寺本堂(国建造物・小浜市)</p> <p>須波阿須疑神社本殿(国・建造物池田町)</p> <p>吉崎御坊跡(国史跡・あわら市)</p> <p>一乗谷朝倉氏庭園(国特別名勝・福井市)</p> <p>一乗谷朝倉氏遺跡(国特別史跡・福井市)</p> <p>羽賀寺本堂(国建造物・小浜市)</p>				

2(1) 主な文化施設

音楽振興の拠点

■福井県立音楽堂（ハーモニーホールふくい）

- ・ 県民の音楽鑑賞の場として公演を開催
- ・ 音楽教室や団体が発表の場として利用
- ・ 県内小・中学生を対象とした鑑賞体験を推進
 - 〔 中学校での出張音楽堂の開催
小学生高学年児童対象のオーケストラコンサート など 〕
- ・ 将来のアーティスト育成支援
音大進学を望む中高生向けの演奏家養成セミナーの開催 など
- ・ 若手演奏家のレベルアップ
越のルビーアーティストバンク登録制度を運営し、
福井ゆかりの演奏家に音楽堂での演奏機会を提供 など

※県内の市町ホール:31施設



<施設概要>

- ・ H9年開館
- ・ 大ホール1,456席、小ホール610席、練習室6部屋
- ・ 年約18万人利用（R元年度）
- ・ (公財)福井県文化振興事業団が運営・管理(指定管理者)
理事長 八木誠一郎（フクビ化学工業(株)代表取締役社長）

美術振興の拠点

■福井県立美術館

- ・ 県民の美術鑑賞の場として
日本画や現代アートなど幅広い展覧会やコレクション
展を開催（企画展:年4回、テーマ展:年6回）
- ・ 講演会、日本画等実技講座などの教育普及
- ・ 民間主催の「福井県総合美術展」を開催するなど、
県民の創作活動を支援
- ・ 福井ゆかりの作家の作品をコレクション
(菱田春草、岩佐又兵衛など 約3,600点)



<施設概要>

- ・ S52年開館
- ・ 展示室5室(計2000㎡)
- ・ 年間約13.9万人来館（R元年度）
- ・ 特別館長・手塚雄二氏（日本画作家、東京藝大名誉教授）
- ・ 学芸員5名(近代日本画、日本美術、彫刻・工芸)

2(1) 主な文化施設

地域の歴史を学ぶ拠点

■福井県立歴史博物館

- ・ 郷土の歴史・民俗等に関する資料を収集・保管
および展示
- ・ 原始から現代までの通史、工芸や産業の常設展示
のほか、所蔵資料を活用した特別展などを開催
(R5年度 特別展:年2回 企画展:年2回 写真展4回)
- ・ 講演会や「ふくい歴博講座」などの教育普及
- ・ 昭和 30～40 年代の人々の暮らしのトピック展示
やオープン収蔵庫
- ・ 所蔵資料 古文書、古写真、絵図など 約215,000点



<施設概要>

- ・ S59年開館
- ・ 延べ床面積 約9,000㎡
- ・ 年間約8.7万人来館 (R元年度)
- ・ 学芸員・文化財調査員6名
(古代・中世・近現代歴史、美術工芸)

■福井県立若狭歴史博物館

- ・ 若狭地方の歴史、民俗等に関する資料を収集・保
管および展示
- ・ 若狭地方の歴史、社寺所蔵の仏像、祭りと芸能などの
常設展示のほか、特別展などを開催
(R5年度 特別展:年1回 テーマ展:3回)
- ・ 講演会、「わかにはく講座」、体験講座などの教育普及
- ・ 所蔵資料 古文書、古写真、絵図など 約17,000点



<施設概要>

- ・ S57年開館、H26年リニューアル
- ・ 延床面積 約3,200㎡
- ・ 年間約5.1万人来館 (R元年度)
- ・ 学芸員・文化財調査員5名 (民俗、中世歴史、考古)

2(1) 主な文化施設

地域の歴史を学ぶ拠点

■福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館

- ・ 特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡のゲートウェイ施設として遺跡に隣接。遺跡の発掘調査・整備、調査研究、出土遺物の保管
- ・ 室町時代後期、越前国を統治した朝倉氏に関する資料の収集・保管、展示、出土品による当時の暮らしを常設展示するほか、特別展を開催
(R5年度 特別展:年2回)
- ・ 講演会、「あさみゅーとーク(講座)」、体験講座などの教育普及
- ・ 所蔵資料(古文書、絵図など約300点、出土遺物 約170万点)



<施設概要>

- ・ R4年開館
- ・ 延床面積 約5,200㎡
- ・ 年間約9.1万人来館(R4年度(R4年10月開館))
- ・ 特別館長・小野正敏氏(国立歴史民俗博物館名誉教授)
- ・ 学芸員・文化財調査員15名
(考古、中世歴史、建築史、庭園史、保存科学、遺跡環境科学、史跡整備、美術工芸)

文学振興の拠点

■福井県立図書館

- ・ ふるさとの情報の拠点として各種資料を収集するとともにレファレンスサービスを充実
- ・ 県内外の公立図書館や専門機関との連携強化により幅広い資料提供や連携企画などのサービスを充実
- ・ 図書館司書、ボランティア等の育成
- ・ 子どもの読書活動の推進
- ・ 県民の生涯学習活動を支援

※県内市町立図書館:35館



<施設概要>

- ・ H15年開館
- ・ 延床面積 約14,297㎡
- ・ 蔵書数 1,091,846冊(R3年度)
- ・ 年間入館者数 約47万人(R元年度)
- ・ 年間貸出冊数 約65万冊(R元年度)

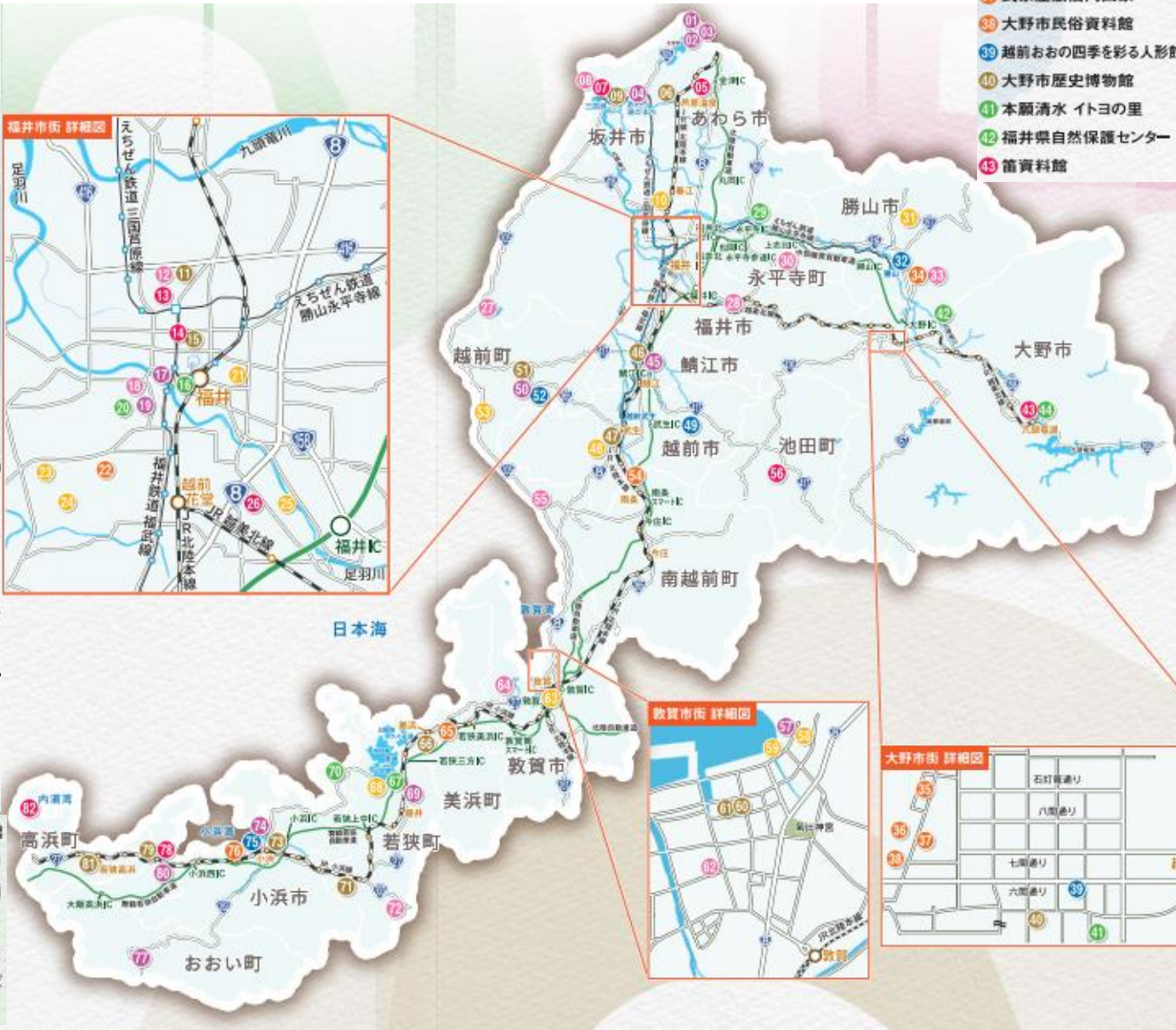
2(1) 主な文化施設

県内の主な文化施設一覧 (R2.3現在)

- 01 越前加賀 県境の館
- 02 吉崎御坊蓮如上人記念館
- 03 吉崎御坊 吉崎寺
- 04 藤野巖九郎記念館
- 05 金津創作の森
- 06 あわら市郷土歴史資料館
- 07 ONOメモリアル
- 08 灘谷寺宝物殿
- 09 みくに龍翔館
- 10 福井県教育総合研究所 教育博物館
- 11 福井県立歴史博物館
- 12 福井県護国神社 秀芳館
- 13 福井県立美術館
- 14 ふくい藤田美術館
- 15 福井市立郷土歴史博物館
- 16 セレンプラネット(福井市自然史博物館分館)
- 17 福井市グリフィス記念館
- 18 福井市愛宕坂茶道美術館
- 19 福井市橋本寛記念文学館
- 20 福井市自然史博物館
- 21 福井県立こども歴史文化館
- 22 福井市おさこえ民家園
- 23 福井市文化財保護センター
- 24 福井市治水記念館
- 25 福井県ふるさと文学館
- 26 福井市美術館
- 27 越前水仙の里公園 越前ふるさと資料館
- 28 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館
- 29 わくわくRiverCAN(九頭竜川流域防災センター)
- 30 大本山永平寺 瑠璃聖宝閣
- 31 福井県立恐竜博物館
- 32 はたや記念館 ゆめおーれ勝山
- 33 白山平泉寺歴史探遊館 まほろば
- 34 勝山城博物館

- 35 武家屋敷旧田村家
- 36 越前大野城
- 37 武家屋敷旧内山家
- 38 大野市民俗資料館
- 39 越前おおの四季を彩る人形館
- 40 大野市歴史博物館
- 41 本願清水 イトヨの里
- 42 福井県自然保護センター
- 43 苗資料館
- 44 和泉郷土資料館
- 45 伊藤柏翠俳句記念館
- 46 鯖江市まなべの館
- 47 越前市武生公会堂記念館
- 48 かこさとし ふるさと絵本館「55」
- 49 越前和紙の里 紙の文化博物館
- 50 雨田光平記念館
- 51 越前町織田文化歴史館
- 52 福井県陶芸館・越前古窯博物館
- 53 越前がにミュージアム
- 54 南条ふるさと資料館 国華

- 55 北前船主の館 右近家
- 56 能面美術館
- 57 人道の港 教賀ムゼウム
- 58 教賀赤レンガ倉庫
- 59 教賀鉄道資料館(旧教賀港駅舎)
- 60 みなとつるが山車会館
- 61 教賀市立博物館
- 62 教賀郷土博物館
- 63 原子力の科学館「あつとほうむ」
- 64 越の秀嶺 西福寺
- 65 若狭国吉城歴史資料館
- 66 美浜町歴史文化館
- 67 福井県年輪博物館
- 68 若狭三方縄文博物館
- 69 佐久間記念交流会館
- 70 福井県海浜自然センター
- 71 若狭町歴史文化館
- 72 若狭鯖街道熊川宿資料館 宿場館
- 73 福井県立若狭歴史博物館
- 74 山川登美子記念館
- 75 御食国若狭おぼま食文化館
- 76 小浜町並み保存資料館
- 77 おおい町厩会館
- 78 松木庄吉美術記念館
- 79 おおい町立郷土史料館
- 80 若州一滴文庫
- 81 高浜町郷土資料館
- 82 五色山公園 匠の美術館



2(2) 文化的・歴史的景観等

県内には、豊かな自然、奥深い歴史に培われた**有形・無形の文化財が数多く存在**

- **国宝** 6件
- **重要伝統的建造物群保存地区** 3地区
- **文化観光の拠点** 2か所
- **認定日本遺産** 5件
- **重要文化的景観** 3件
- **ふるさと百景(県選定)** 100か所



● **ふるさと百景**
農村の伝統美
漆喰の白壁民家群



● **日本遺産**
400年の歴史の扉を開ける旅
～石から読み解く中世・近世
のまちづくり 越前・福井～



● **文化観光の拠点**
大本山永平寺



● **文化観光の拠点**
一乗谷朝倉氏遺跡



● **国宝**
明通寺
本堂、三重塔



● **重要文化的景観**
越前海岸の水仙畑



● **日本遺産**
海と都をつなぐ
若狭の往来文化遺産群
～御食国若狭と鯖街道～



● **ふるさと百景**
天狗が踊る 王の舞



● **日本遺産**
海を越えた鉄道
～世界へつながる
鉄路のキセキ～



● **重要伝統的建造物群
保存地区**
南越前町今庄宿

福井ふるさと百景

福井の美しい景観を県内外に発信し、**県民共有の財産である景観を地域の力で守り育てていく**ことを目的として選定。福井を特徴付ける100のテーマで構成

あわら・坂井

- 01 義経や観音も通った 加越国境の旧北陸道 あわら市
- 02 20万株の花苜蓿 北潟湖 あわら市
- 03 蓮如上人布教の聖地 吉崎御坊 あわら市
- 04 文人墨客に愛された名湯 あわら温泉 あわら市
- 05 多彩な果樹が迎える 坂井丘陵フルーツライン あわら市・坂井市
- 06 天下の奇跡 東尋坊 坂井市
- 07 北前船の栄華漂う 湊町三国 坂井市
- 08 コシヒカリのふるさと 坂井平野 坂井市
- 09 田園の中のオアシス 春江ゆりの里 坂井市
- 10 北陸唯一の現存天守 丸岡城 坂井市
- 11 桜吹雪舞う悠久の山里 竹田 坂井市

永平寺・奥越

- 12 命を育む母なる大河 九頭竜川 勝山市・永平寺町
- 13 風を帯びて 永平寺から福井に続く自転車道 坂井市・永平寺町
- 14 禪の修行道場 永平寺 永平寺町
- 15 仰ぎ見る白い頂 雲峰白山 勝山市・永平寺町・越前町・高浜町
- 16 悪竜が眠る大地 ジオパーク 勝山 勝山市
- 17 春を待つ 北谷の山里集落 勝山市
- 18 「蝶よ花よ」と囃子が響く 城下町勝山の町並み 勝山市
- 19 中世宗教都市の歴史を物語る 白山平泉寺 勝山市
- 20 懐かしい機織りの音が聞こえる 奥越のまち 大野市・勝山市
- 21 大地鳴動の記憶 奥越の巨大岩塊 大野市・勝山市
- 22 城、町並み、朝市 風情漂う城下町 大野 大野市
- 23 イトヨが生息する 名水の里 大野 大野市
- 24 日本百名山 荒鳥岳 大野市
- 25 越前国境からの清らかな清流 真名川 大野市
- 26 日本一の星空を仰ぐ 六呂師高原 大野市
- 27 紅葉の刈込池に映る白雪の三ノ峰 大野市
- 28 鮮やかな四季の移ろい 九頭竜湖 大野市

福井

- 29 らっきょうの花咲く 三里浜 福井市・坂井市
- 30 福井ゆかりの 武将を偲ぶ墓所 福井市・坂井市
- 31 秋風に揺れる1億の花 コスモス広苑 福井市
- 32 福井のシンボル 歴史と自然の足羽山 福井市
- 33 試練を乗り越え咲き誇る 足羽川桜並木 福井市
- 34 路面電車が走る 福井の街角 福井市

- 35 68万石の大藩の面影 福井城址 福井市
- 36 幕末四賢侯 春風公の別邸 養浩館 福井市
- 37 歴史に刻まれた名石 笏笏石のふるさと 福井市
- 38 西行が詠えた 朝六つ橋から見た 文殊山 福井市
- 39 清らかなせせらぎ 東郷の町並み 福井市
- 40 朝倉氏五代の栄華の跡 一乗谷 福井市
- 41 七たび渡る足羽川 美山の越美北線 福井市
- 42 人と自然が育てた 美山の杉林 福井市

丹南

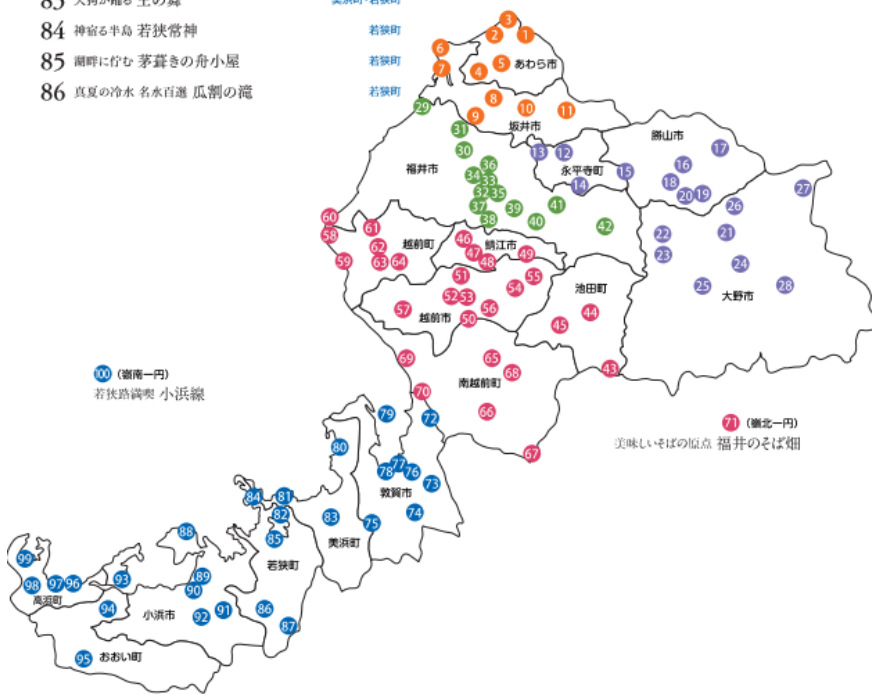
- 43 足羽川瀧流 冠山と龍双ヶ滝 池田町
- 44 伝統息づく 籠栗の里 池田 池田町
- 45 農の営みが見える 池田の原風景 池田町
- 46 近松文学のふるさと 菅江 鯖江市
- 47 つつじの絨毯 西山公園 鯖江市
- 48 門前町と城下町の面影 鯖江の町並み 鯖江市
- 49 越前漆器の伝統受け継ぐうるしの里 河和田 鯖江市
- 50 紫式部が詠んだ 日野山・日野川 福井市・鯖江市・越前市・南越前町
- 51 昔懐かしい 福武線の木造駅舎 鯖江市・越前市
- 52 丹南のレトロな洋風建築物との出会い 鯖江市・越前市
- 53 菊の香漂う 越前の国府 武生 越前市
- 54 1500年の伝統 越前和紙の里 越前市
- 55 小次郎と長寿の水の伝説 水間谷 越前市
- 56 万葉の恋物語の舞台 味真野 越前市
- 57 コウトリ舞う里山 白山・坂口 越前市
- 58 藤原たる香り 越前水仙 福井市・越前町・南越前町
- 59 釜釜での湯気立つ 越前がこの水揚げ港 坂井市・越前町
- 60 日本海の荒波が造った奇岩・奇跡 越前海岸 福井市・越前町
- 61 豪傑大師修行の雲峰 越知山 越前町
- 62 太鼓響く鎮守の森 信長公ゆかりの観神社 越前町
- 63 日本六古窯 越前焼のふるさと 越前町
- 64 農村の伝統美 漆喰の白壁民家群 福井市・越前町
- 65 作付面積日本一 南条花ハスの里 南越前町
- 66 軍事・交通の要衝 北国街道宿場町今庄 南越前町
- 67 竜神伝説 夜叉ヶ池 南越前町
- 68 今に伝わる 明治の石積み砂防堰堤 南越前町
- 69 海の道と馬借街道の中継港 河野 南越前町・越前市

- 70 山を越え海を越えた鉄道 今庄～敦賀 南越前町・敦賀市
- 71 美味しいそばの原点 福井のそば畑 福北一円

福南

- 72 敦賀湾の大バノナマ 杉津の眺望 敦賀市
- 73 手付かずの自然が残る 池内湿原・中池見湿地 敦賀市
- 74 運河の遺跡 疋田舟川 敦賀市
- 75 360°展望の頂 野坂岳 敦賀市
- 76 そびえる大島居 北陸の総鎮守 氣比神宮 敦賀市
- 77 アジア大陸との交易拠点 国際港敦賀 敦賀市
- 78 日本三大 気比の松原 敦賀市
- 79 コバルトブルーの海 水鳥と色ヶ浜 敦賀市
- 80 碧く輝く海と白い砂浜 水品浜 美浜町
- 81 海と湖に挟まれた伝統行事息づく漁村 日向、早瀬 美浜町
- 82 山頂から望む絶景 三方五湖 美浜町・若狭町
- 83 天狗が踊る 王の舞 美浜町・若狭町
- 84 神宮の半島 若狭常神 若狭町
- 85 湖畔に佇む 茅葺きの舟小屋 若狭町
- 86 真夏の冷水 名水百選 瓜割の滝 若狭町

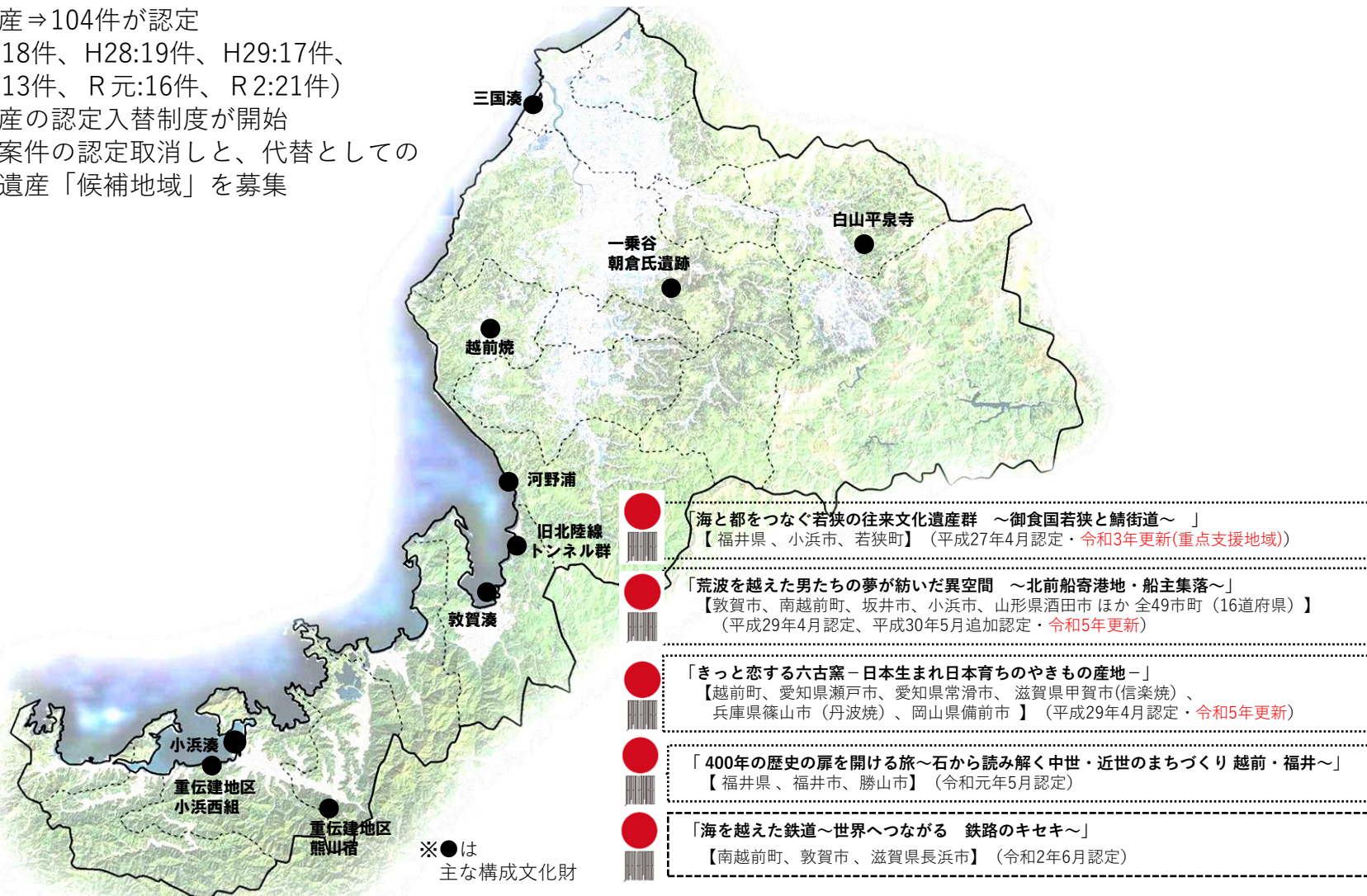
- 87 若狭から京へ続く朝街道 熊川宿 若狭町・小浜市
- 88 荒波の彫刻 蘇洞門 小浜市
- 89 豊富な海産物と若狭塩 御食国若狭おぼま 小浜市
- 90 茶屋町の情緒漂う紅殻格子 三丁町 小浜市
- 91 古刹と仏像の宝庫 大陸の玄関口小浜 小浜市
- 92 若狭から奈良への歴史大河 お水送り 小浜市
- 93 海が舞台の炎の祭 大火勢 おおい町
- 94 水上文学のふるさと 佐分利川 おおい町
- 95 星降る村 安倍晴明ゆかりの名田庄 おおい町
- 96 瓦屋根が連なる 高浜・旧丹後街道 高浜町
- 97 足利義満が愛でた奇跡 明鏡洞 高浜町
- 98 海にそびえ立つ若狭富士 青葉山 高浜町
- 99 静かな海、瀬田、漁村 風光明媚 内浦湾 高浜町
- 100 若狭路演劇 小浜線 福南一円



福井県内の日本遺産

各ストーリーを構成する文化財等が広く点在。ストーリーで全国へ発信

- 日本遺産⇒104件が認定
(H27:18件、H28:19件、H29:17件、
H30:13件、R元:16件、R2:21件)
- 日本遺産の認定入替制度が開始
⇒既存案件の認定取消しと、代替としての
日本遺産「候補地域」を募集



2(2) 文化的・歴史的景観等

福井県内の伝統工芸品・地場産業

- ・**伝統工芸品の後継者・従事者が減少**する中、産地を中心に、作り手の技や製品、人柄に触れ、工芸を身近に感じるとともに次世代への継承を目指すイベント「千年未来工藝祭」や工房見学等イベント「RENEW」、「めがねフェス」などが開催
- ・R2年度から工芸の魅力を発信する祭典「GO FOR KOGEI」が富山、石川、福井の北陸3県を舞台に開催

国内シェア 9割以上

めがね



日本六古窯の一つ

越前焼



江戸時代からの

若狭塗



繊維

古くからの絹織物、
化学繊維は
日本有数の産地



約1500年前からの
越前漆器



約1500年前からの
越前和紙



奈良時代からの
若狭めのう細工



約700年前からの
越前打刃物

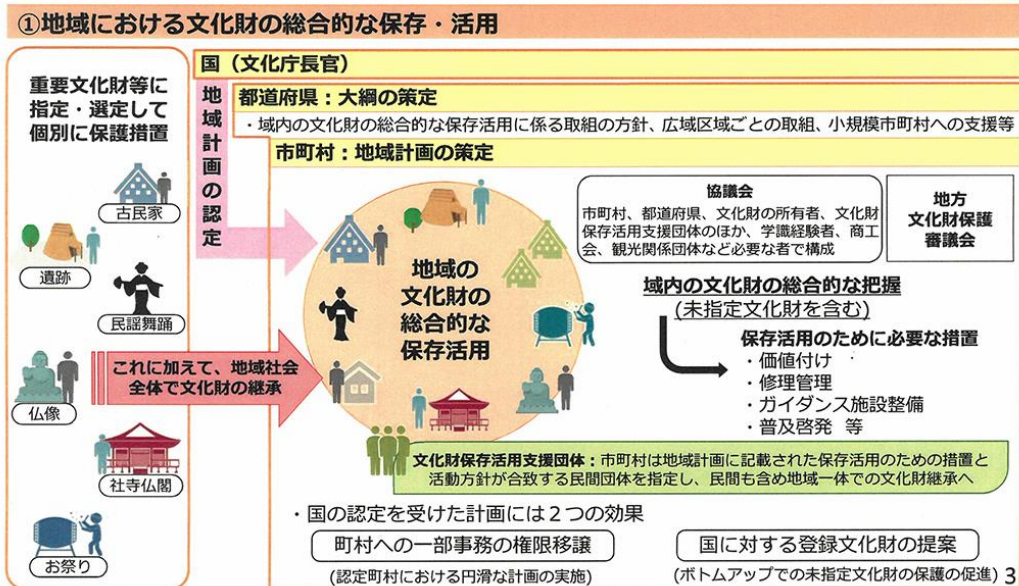


奈良・白鳳時代からの
越前筆筒

2(3) 指定文化財

1 文化財保護法改正の施行（平成 31 年 4 月）

- ・文化財をまちづくりに活かし、地域社会総がかりで、その継承に取り組むため、国が指針を示し、地域の文化財の計画的な保存・活用の促進



出典：文化財保護法改正の概要について（文化庁 平成30年7月）

2 福井県文化財保存活用大綱の策定（令和 2 年 3 月）

- ・福井県における文化財の保存・活用の基本的な方向性を明確化し、今後の取組みに対する共通の方針を策定
- ・県内市町が作成する文化財保存活用地域計画や市町の文化財保護行政が相互に矛盾なく、同じ方針の下に保存・活用に取り組むことが可能となる。
- ・県大綱をもとに、市町が地域計画の策定を積極的に進め、地域社会総がかりで、文化財を次の世代に引き継ぐとともに、郷土への愛着や誇りを醸成する。

3 市町における文化財保存活用地域計画の策定状況

○文化庁認定 6 市町（17市町中）

小浜市（令和2年 7月）	大野市（令和4年 7月）
若狭町（令和3年 7月）	勝山市（令和4年12月）
坂井市（令和4年 7月）	越前市（令和5年 7月）

2(3) 指定文化財

福井県内の国宝

文化財名称	所在地 (市町)	所有者・管理者	指定種別
明通寺本堂	小浜市	明通寺	有形文化財 建造物
明通寺三重塔	小浜市	明通寺	有形文化財 建造物
朝鮮鐘	敦賀市	常宮神社	有形文化財 工芸品
金銅宝相華文磬	坂井市	瀧谷寺	有形文化財 工芸品
梵鐘	越前市	劔神社 (織田歴史文化館に寄託)	有形文化財 工芸品
普勸座禅儀 附 普勸座禅儀選述記	永平寺町	永平寺	有形文化財 書跡・典籍・古文書

2(3) 指定文化財

福井県内の国指定・県指定文化財数

区 分		国指定		国選定	国選択	国登録	県指定
		国特 宝別	重文 国指定				
有形 文化財	建造物	2	28			237	28
	絵 画		14				85
	彫 刻		35				86
	工芸品	3	8			1	34
	書跡・典籍・古文書	1	15				22
	考古資料		5				16
	歴史資料		3				8
	計	6	108			238	279
無形 文化財	芸 能						
	工芸技術		2				4
	計		2				4
民俗 文化財	有形民俗文化財		1			1	10
	無形民俗文化財		5		12		65
	計		6		12	1	75
史跡・名勝・ 天然記念物	史 跡	1	24				29
	名 勝	1	14			2	7
	天然記念物	4	17			1	31
	名勝天然記念物		1				
	計	6	56			3	67
文化的景観				3			
重要伝統的建造物群保存地区				3			
選定保存技術							
合 計		12	172	6	12	242	425
		184					

3 国際交流(友好都市提携等)の状況(令和5年3月末現在)

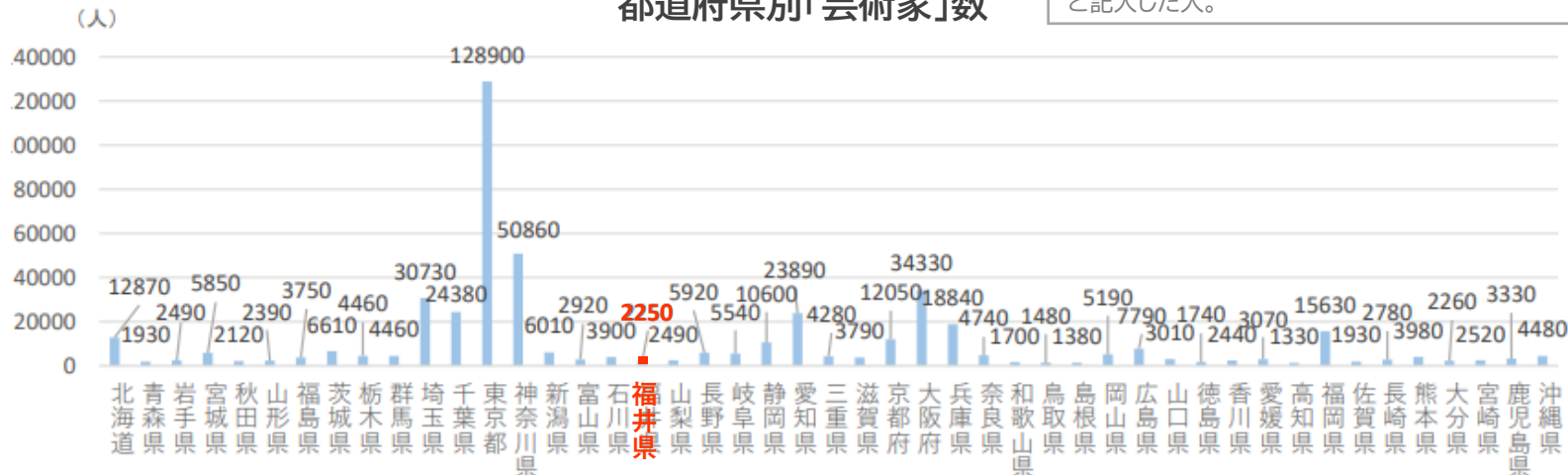
区 分		北米	欧州	アジア	中南米	アフリカ	オセアニア	国際 機関等	小計	備 考
姉妹友 好提携	県	1	1	2					4	米国NJ州、中国浙江省、ドイツ・ハールブルク郡・ヴィンゼン市、ブータン王立研究所等
	市町	3	1	14					18	福井市等5市、越前町等5町
	県の施設	4		8					12	音楽堂と米NJパフォーミング・アーツ・センター、恐竜博物館と海外9施設、図書館と浙江図書館等
	学校	19	36	168	3	3	12		241	福井大学、県立大学、福井工大、仁愛大学・短大、福井高専、小中高校等
	民間団体 (学校を除く)	2		9					11	商工会議所、テレビ局等
	小計	29	38	201	3	3	12		286	
覚書等そ の他の関 係構築	県			3	2			1	6	国際原子力機関（IAEA）、タイ工業省、香港貿易発展局等
	市町		1					1	2	難民を支える自治体ネットワーク加盟等
	学校			1	2	2			5	ブラジル日本語モデル校等
	民間団体 (学校を除く)		3	3	1				7	スロベニア名誉領事館開設等
	小計		4	7	5	2		2	20	
合 計		29	42	208	8	5	12	4	306	

4 アーティストの状況(芸術家数)

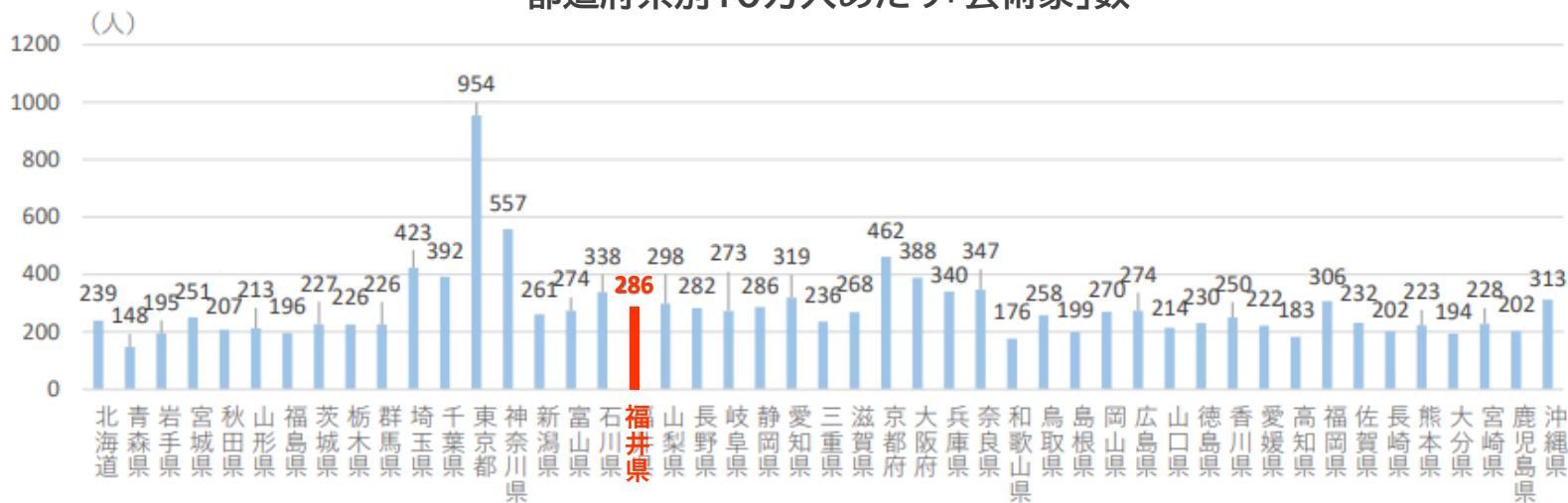
・芸術家は、**活躍の場を求めて東京に集中する傾向**

※「芸術家」とは、国勢調査において職業欄に「著述家」「彫刻家・画家・工芸美術家」「デザイナー」「写真家・映像撮影者」「音楽家」「個人教師(音楽)」「舞踏家・俳優・演出家・演芸家」「個人教師(舞踏、俳優、演出、演芸)」のいずれかに該当すると記入した人。

都道府県別「芸術家」数



都道府県別10万人あたり「芸術家」数



5(1) 県民アンケートの結果

令和4年度 県民の文化に関する意識調査

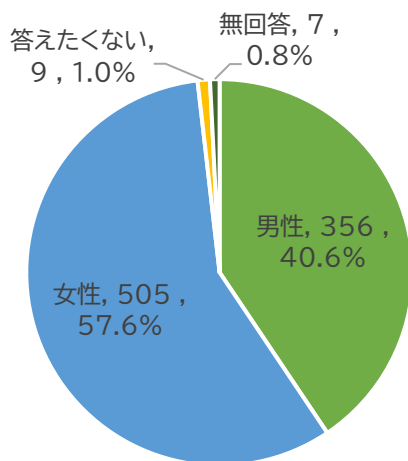
文化芸術活動の鑑賞や参加に関する県民の満足度や意見等を把握し、県の文化芸術に関する施策の参考とするため、「県民の文化に関する意識調査」を実施した。

調査の概要

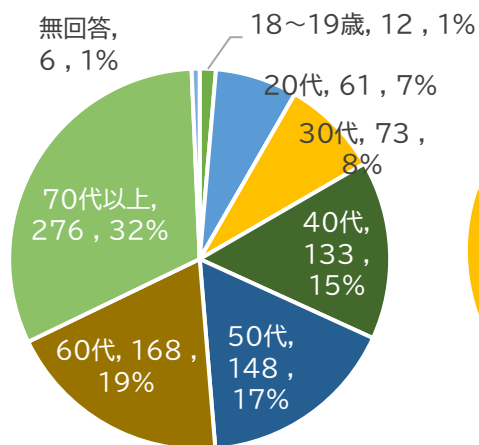
- 調査対象 18歳以上の福井県在住者2,000人
- 回収数 877件（回収率:43.9%）
- 調査期間 令和4年11月15日～12月15日
- 調査方法
 - ・住民基本台帳より市町別人口、年齢構成比でランダム抽出
 - ・調査票を郵送し、返信用封筒により返送回収(ネット回答も可)

回答者の属性

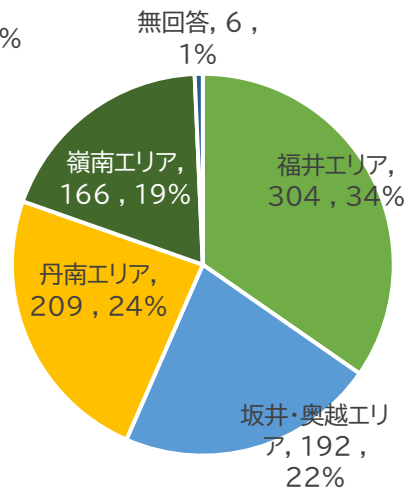
(1)性別



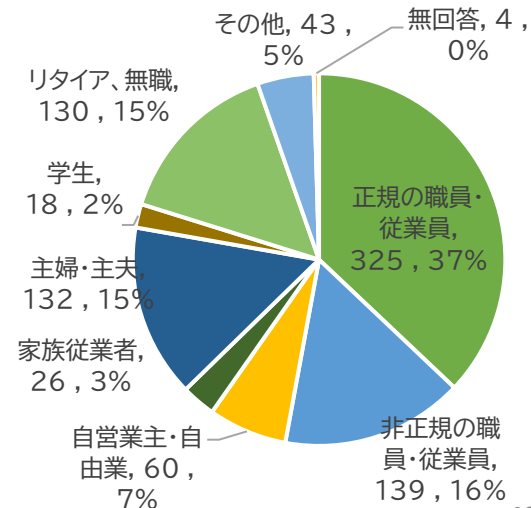
(2)年齢



(3)居住エリア



(4)職業

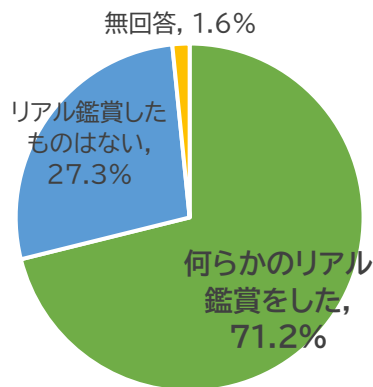


5(1) 県民アンケートの結果

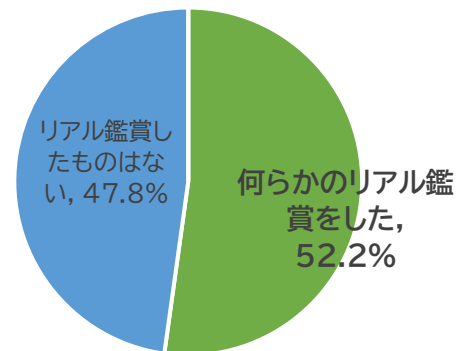
1 リアル鑑賞の経験

令和4年11月以前の1年間、文化芸術を直接鑑賞したことがあるか尋ねたところ、**直接鑑賞したことがあると回答した割合は71.2%**となった。

ジャンルとしては、「美術」「映画(アニメーション映画を除く)」「ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など」を鑑賞した割合が特に高い。

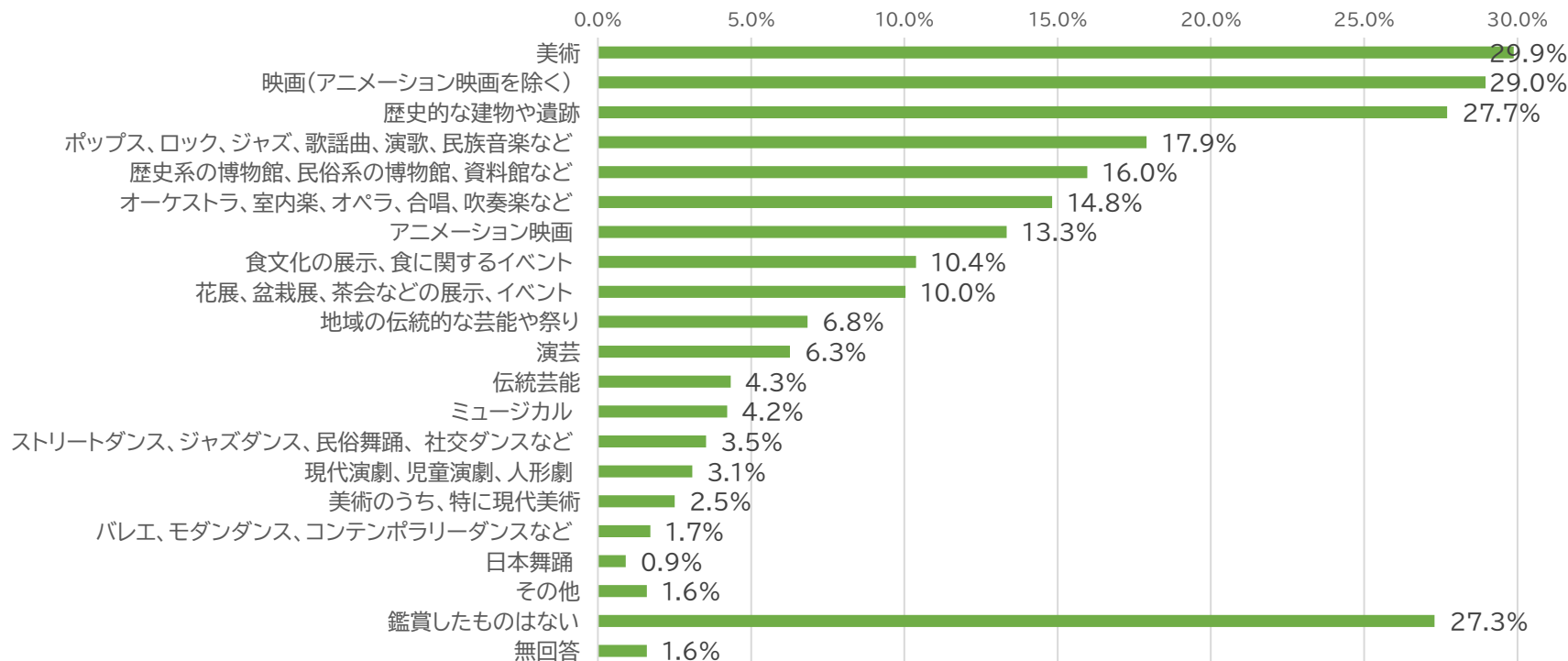


福井県 (R4.11調査)



【参考】全国 (R5.1調査)

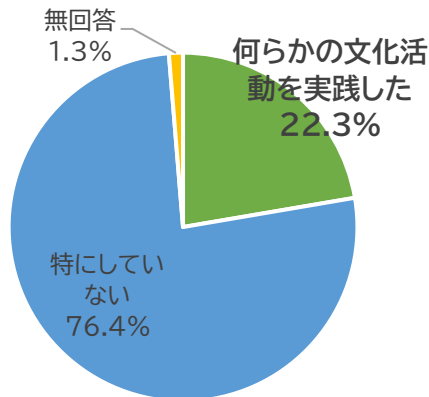
リアル鑑賞した文化芸術のジャンル



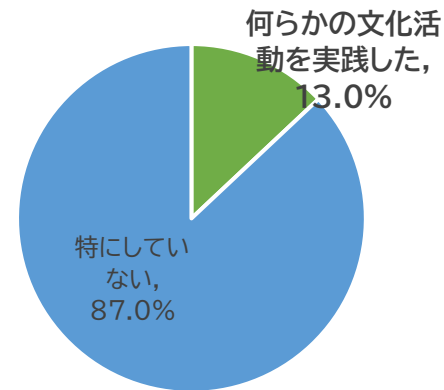
5(1) 県民アンケートの結果

2 鑑賞以外の文化芸術活動

令和4年11月以前の1年間に、鑑賞ではなく、自分で文化芸術活動を実践したり、ボランティアとして活動を支援したことがあるかを尋ねたところ、**何らかの実践・支援をしている割合は22.3%にとどまった。**

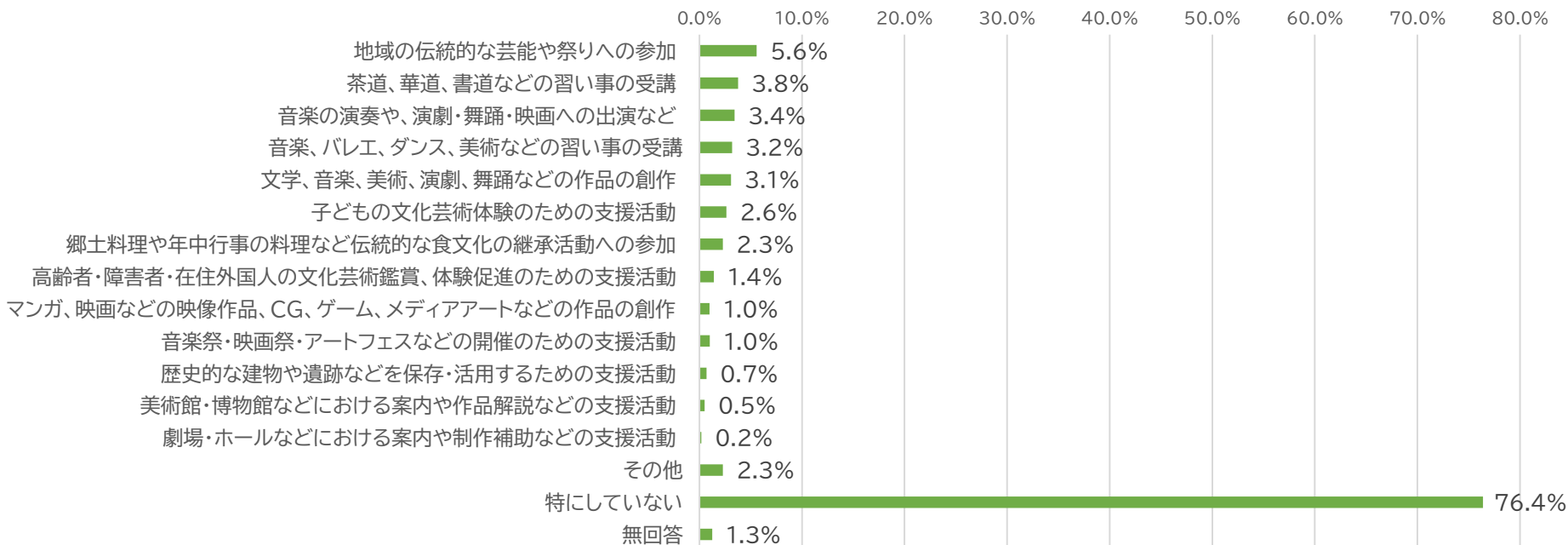


福井県 (R4.11調査)



【参考】全国 (R5.1調査)

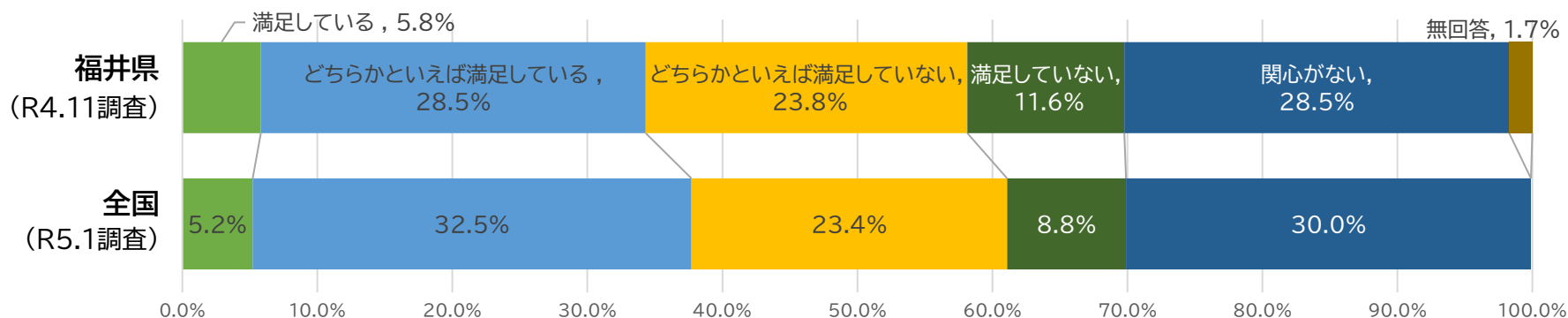
実践・支援した文化芸術活動のジャンル



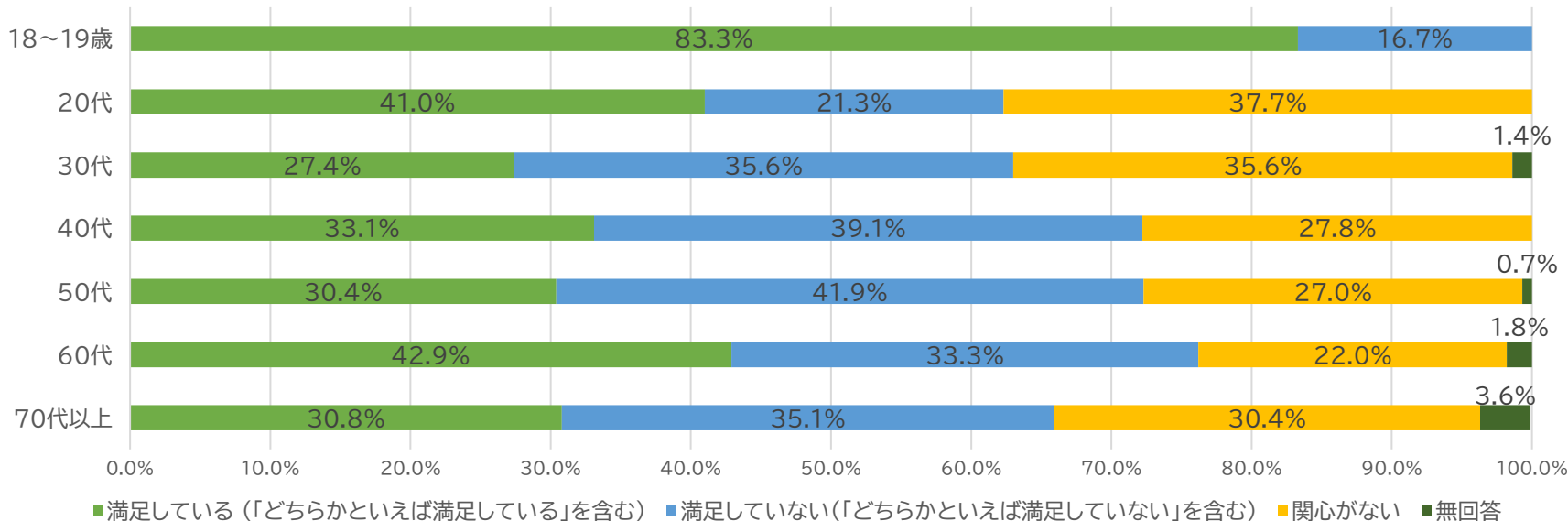
5(1) 県民アンケートの結果

3 地域の文化的環境

居住する市町の文化的な環境に満足しているかについては、「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した割合が**34.3%にとどまった**。居住エリア別よりも年代別の方が結果の差が大きく、30代以上の世代で「満足していない」または「関心がない」と回答した割合が半数を超えた。



地域の文化的環境に満足しているか(年代別)

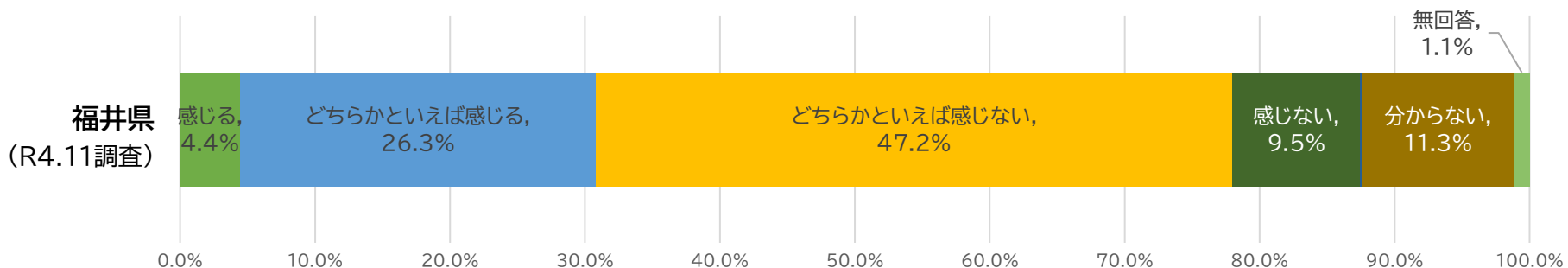


5(1) 県民アンケートの結果

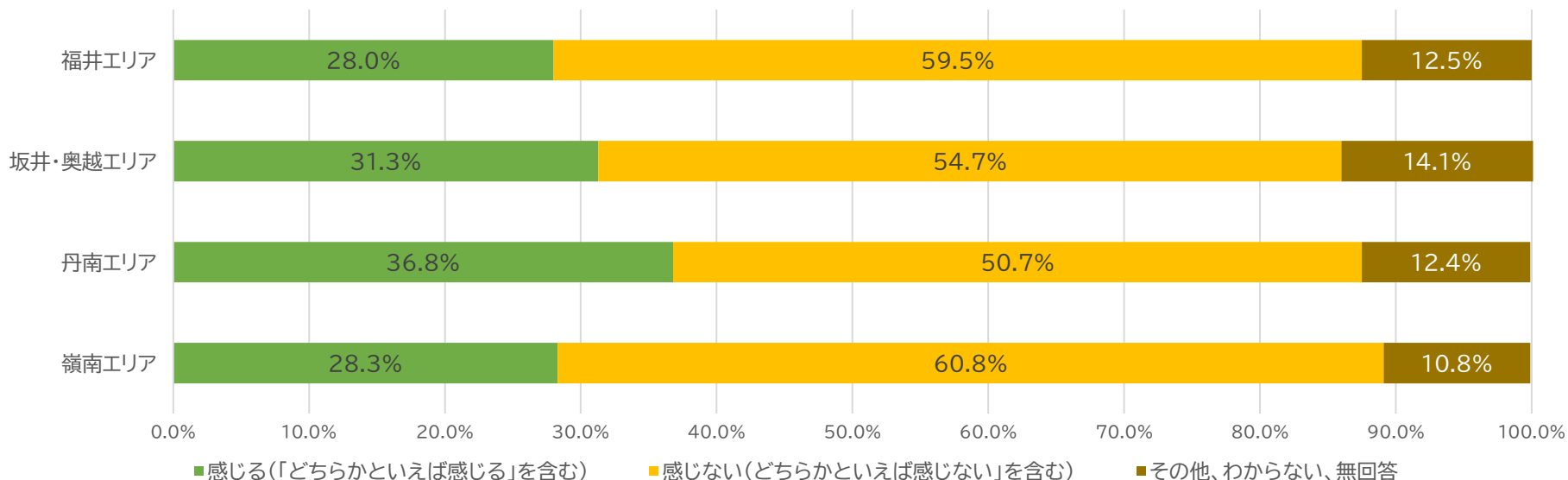
4 自身を取り巻く文化的環境

居住する市町が、普段の生活の中で文化芸術活動を実践し、または観て楽しめる地域になっていると感じるかについては、「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した割合が30.7%にとどまった。

地域別では、嶺南エリアと福井エリアが特に「感じない」「どちらかといえば感じない」と回答した割合が高かった。



文化的活動を楽しめる環境になっていると感じるか(エリア別)



5(2) 文化団体へのアンケートの結果

令和4年度 本県の芸術文化活動に関するアンケート調査(団体調査)

実施時期:令和4年12月15日～令和5年1月16日

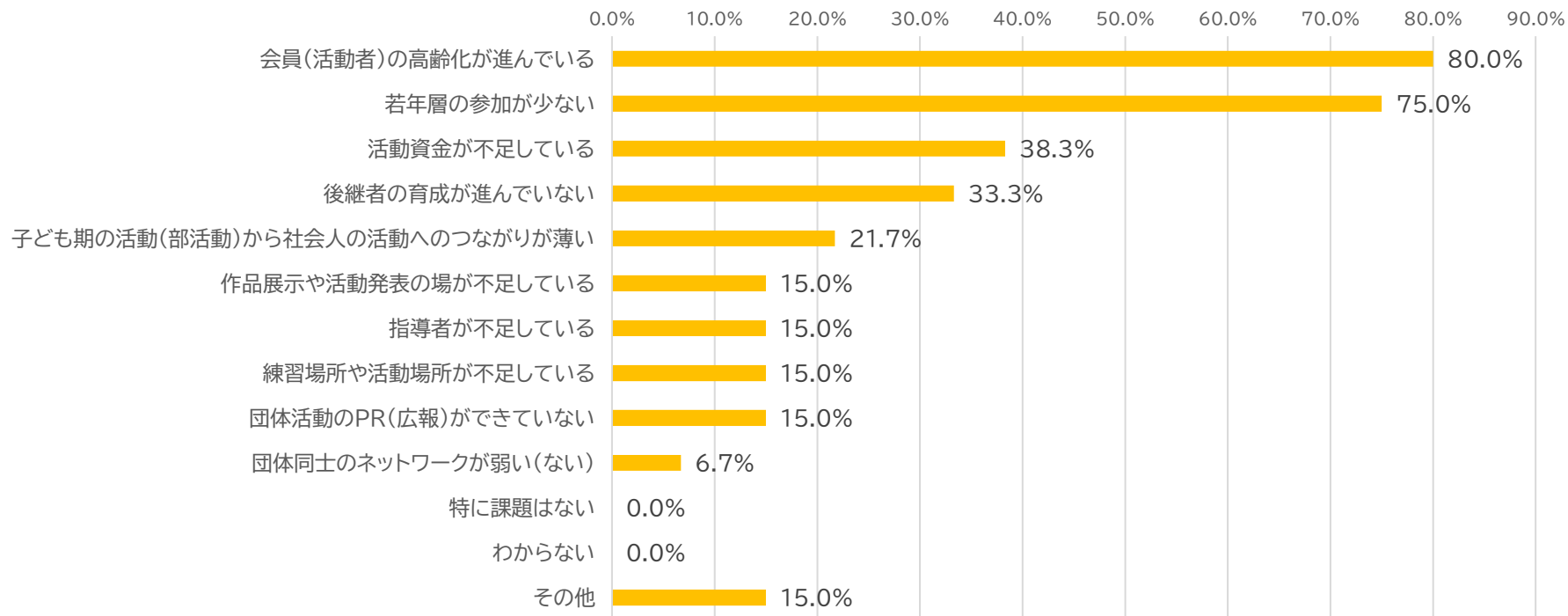
対象:文学、音楽、写真、演劇、舞踊、伝統芸能、生活文化などの分野で活動する芸術・文化団体

対象数:76団体

回答数:60団体(回収率:78.9%)

1 活動していく上での課題

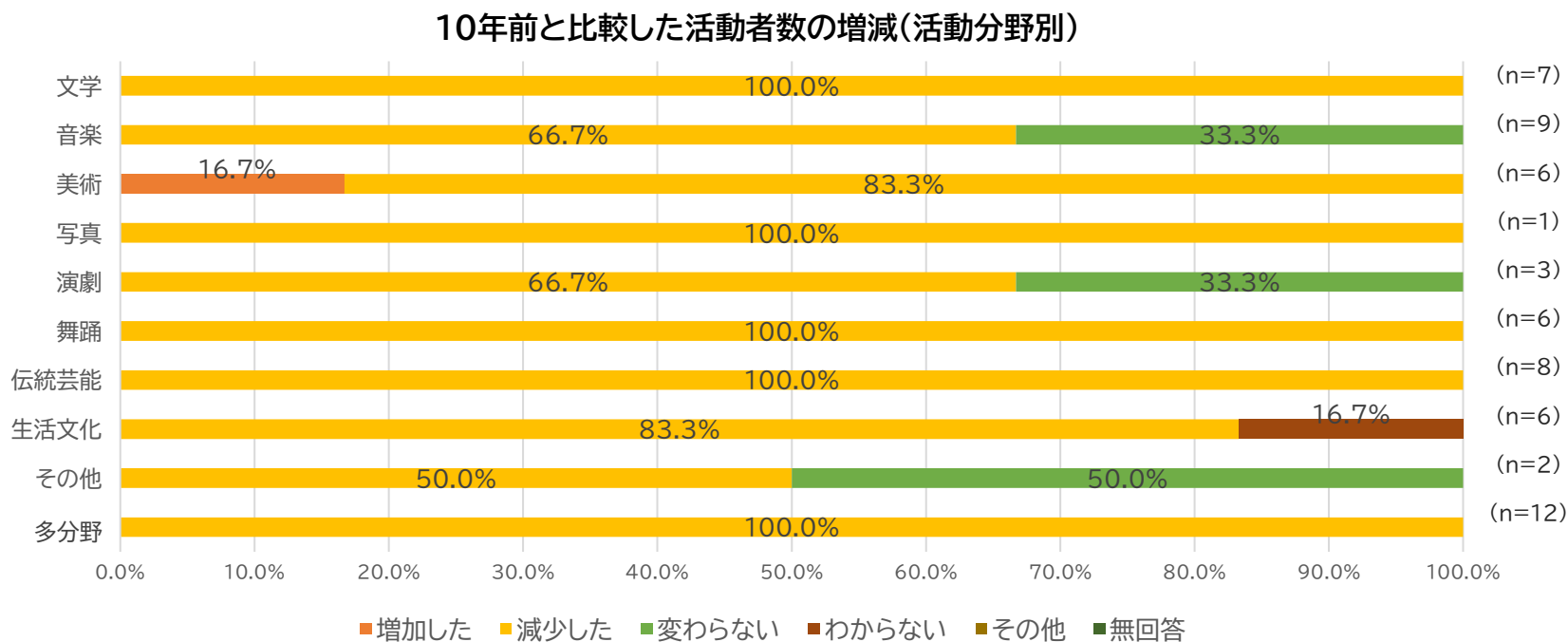
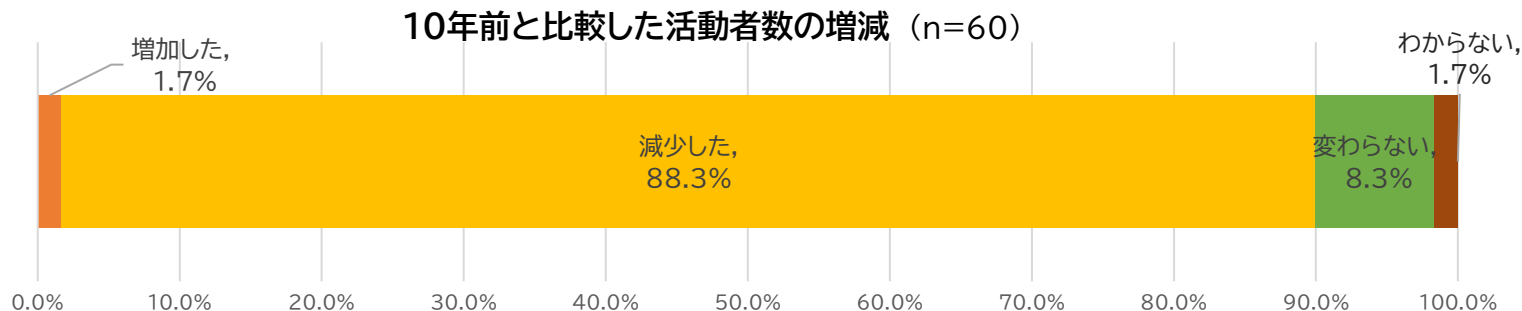
活動していく上での課題として「**会員(活動者)の高齢化が進んでいる**」「**若年層の参加が進んでいない**」と回答した割合が特に高く、どちらも7割を超えた。



5(2) 文化団体へのアンケートの結果

2 活動者の増減

10年前と比較した団体の活動者数の増減については、「**減少した**」と回答した割合が**88.3%**に上った。活動分野別に見ても、多くの分野で「減少した」と回答した割合が100%となっている。



5(3) 無形民俗文化財保護団体へのアンケートの結果

令和3年度 無形民俗文化財に関するアンケート調査

実施時期:令和3年8月

目的:コロナ禍で活動が難しい中、現状把握のため

対象数:56団体(県無形民俗文化財保護協議会の会員団体)

回答数:42団体

1 会員の年齢層

会員の年齢層は、**40歳以上が全体の約7割を占めている。**

2 近年の活動状況

ここ数年の活動状況は、**活動できている団体が約7割を占めている。**

3 活動できていない理由

活動できていない理由として、**「保存会員の高齢化が進んでいるため」「後継者不足に悩んでいるため」が約3割と最も多い。**

